

マイクロソフト コマーシャル ライセンス 早わかりガイド



Contents

はじめに	3
マイクロソフト コマーシャル ライセンスとは	3
お客様のニーズによって選択できるプログラムを提供	3
最適ライセンス プログラム早わかりチャート	4
大規模な組織全体での標準化と IT コストの削減を図りたい	4
必要な時に必要なだけライセンスを購入したい	4
独自のニーズに合った統合ソリューションを導入したい	4
必要に応じてオンライン サービスをすぐに利用したい	4
1. サービスや製品のライセンスについて	6
マイクロソフトのオンライン サービスやオンプレミス製品のライセンスとは?	6
マイクロソフト オンライン サービスのライセンス	6
サブスクリプション ベースのライセンスで購入	7
ユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) の利用メリット	7
Microsoft 365 のライセンス	7
Office 365 のライセンス	9
Enterprise Mobility + Security (EMS) のライセンス	9
Dynamics 365 のライセンス	10
Microsoft Azure のライセンス	11
オンプレミス製品のライセンスについて	13
Microsoft Office 製品のライセンス	13
クライアント OS のライセンス (Windows)	13
開発ツールのライセンス (Visual Studio Subscription など)	13
サーバー OS のライセンス (Windows Server)	14
管理サーバーのライセンス (System Center)	15
サーバー製品のライセンス (SQL Server/Exchange Server など)	16
2. コマーシャル ライセンス プログラムについて	17
エンタープライズ アグリーメント	17
エンタープライズ加入契約 (EE)	17
エンタープライズ サブスクリプション加入契約 (EAS)	19
サーバーおよびクラウド加入契約 (SCE)	20
教育機関向け総合契約	21
スクール アグリーメント	21
マイクロソフト プロダクト アンド サービス アグリーメント	22
セレクト プラス フォーガバメント パートナーズ	22
オープン バリュー	23
オープン バリュー サブスクリプション	23
オープン ライセンス	23
マイクロソフト クラウド アグリーメント	24
マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント	25
ISV Royalty プログラム	26
パッケージ ソフトウェア開発企業様向けライセンス プログラム	26
サービス プロバイダー ライセンス アグリーメント	26
ホスティング型サービスやアプリを提供する企業様向けライセンス プログラム	26
ソフトウェア アシュアランス	27
ソフトウェア アシュアランスの主な特典	28
ライセンス認証	30
オンプレミスの認証 (ボリューム アクティベーション)	30
オンライン サービスの認証	30
ライセンス管理	31
マイクロソフト ファイナンシング	31

はじめに

マイクロソフト コマーシャル ライセンスとは

マイクロソフトのコマーシャル ライセンスは、あらゆる規模の企業や組織の、お客様ニーズに合わせたライセンスの購入方法を提供しています。

手軽なコストでライセンス入手

組織内の複数のデバイスでオンプレミスのソフトウェアやオンライン サービスをより簡単、かつ手頃な価格で利用できるようになります。将来のコスト予測も可能になります。



ライセンス管理が容易、安心

ソフトウェアのライセンス(使用権)のみを受けるため、DVDなどのメディアやユーザー ガイドなどを保管する必要がなくなります。ライセンスも Web サイトで容易に管理でき、コンプライアンス リスクを抑えることが可能です。



ニーズに合わせて選択可能

お客様が利用する IT 環境に合ったライセンスの取得方法や支払い方法を選択できます。



導入効果を最大化できる特典を提供

コマーシャル ライセンスでは、最新バージョンへのアップグレードや技術サポート、トレーニングなど、ソフトウェアやオンライン サービスの導入効果を最大化できる特典を標準またはオプションで提供します。

お客様のニーズによって選択できるプログラムを提供

マイクロソフトでは、オンライン サービスやオンプレミス製品を購入する際のオプションとして、組織規模で導入する方法と、必要な時に必要な分だけ導入する方法を用意しています。次に主なプログラムとそのメリットを紹介します。



エンタープライズ アグリーメント Enterprise Agreement (EA)

- 組織全体での導入によってコストを大幅に削減
- 3 年間の年額払いでの初期投資を効果的に抑え、予算化が可能
- 契約期間中の価格固定により、追加コストの予測が可能
- 関連会社を含めた組織全体のソフトウェア標準化や一元管理が可能
- 最新バージョンへのアップグレード、マイクロソフト製品およびサービスのサポートなどを標準提供
- 契約期間中だけサービスを利用できる契約も提供しニーズに合った契約が可能



マイクロソフト クラウド アグリーメント Microsoft Cloud Agreement (MCA)

- 必要なオンライン サービスを必要な時に購入可能
- マイクロソフトのパートナーが提供する多彩なクラウド ソリューションを利用可能
- オンライン サービスのサポートは、マイクロソフトのパートナーが提供し、お客様の問い合わせ窓口を集約
- オンライン サービスの管理はマイクロソフトのパートナーが実施、お客様の管理の手間を削減
- 1 ユーザーから購入できるため、業務に必要なサービスをすばやくユーザーに提供可能
- クラウド ソリューション プロバイダーが購入から導入、使用までを支援



マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント Microsoft Online Subscription Agreement (MOSA)

- 業務に必要なサービスをすぐに利用開始できるため、業務効率が向上
- マイクロソフトのオンライン サービスを Web から直接、簡単に購入可能
- 組織の成長に応じて、サービスやユーザー数を柔軟かつ迅速に追加
- 必要なサービスのライセンスのみを入手することで IT 投資を合理化
- システムの運用、管理、メンテナンスなどに伴うコストや人的配置を低減可能

最適ライセンス プログラム早わかりチャート

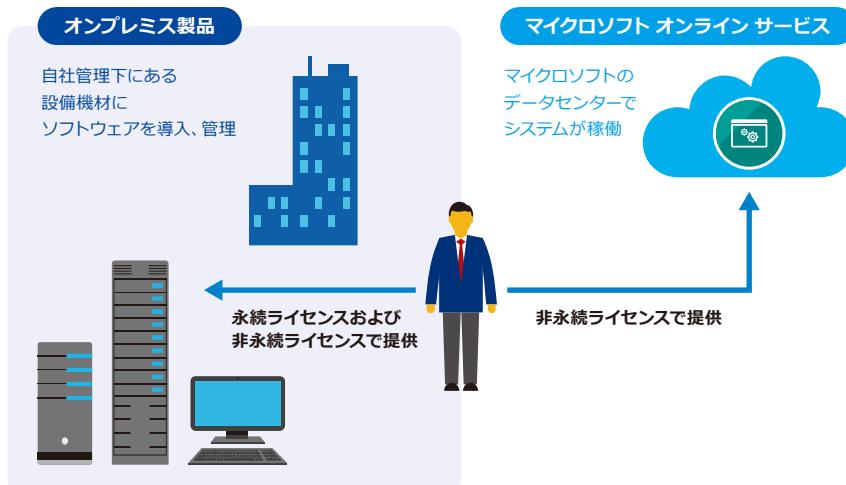


プログラム	最低購入数	主な契約範囲	ライセンス形態	契約期間	販売パートナー
エンタープライズ アグリーメント Enterprise Agreement (EA) ④ P.17	デバイス/ユーザー数 ●一般企業: 500 以上 ●公共機関: 250 以上	組織全体	永続および 非永続 ライセンス	3 年間	ライセンス ソリューション パートナー (LSP)
オープン バリュー Open Value Agreement (OV) オープン バリュー サブスクリプション Open Value Subscription Agreement (OVS) ④ P.23	3 ライセンス以上	組織全体	永続および 非永続 ライセンス	3 年間	マイクロソフト 製品販売会社
教育機関向け総合契約 Enrollment for Education Solutions (EES) ④ P.21	教育対象ユーザー数 1,000 名以上	教育機関全体	非永続 ライセンス	1 年 / 3 年	ライセンス ソリューション パートナー (LSP)
オープン バリュー サブスクリプション 教育機関向け総合契約 Open Value Subscription Agreement for Education Solutions (OVS-ES) ④ P.23	3 ライセンス以上	教育機関全体	非永続 ライセンス	1 年 / 3 年	マイクロソフト 製品販売会社
スクール アグリーメント School Agreement ④ P.21	PC 10 台以上	教育機関全体	非永続 ライセンス	1 年 / 3 年 / 5 年	マイクロソフト 製品販売会社
マイクロソフト プロダクト アンド サービス アグリーメント Microsoft Products and Services Agreement (MPSA) ④ P.22	年間 500 ポイント以上 ※ オンライン製品の場合は 250 ポイント以上	個別購入	永続および 非永続 ライセンス	無期限	ライセンス ソリューション パートナー (LSP)
セレクト プラス Select Plus ④ P.22	年間 500 ポイント以上	個別購入	永続および 非永続 ライセンス	無期限	ライセンス ソリューション パートナー (LSP)
オープン バリュー Open Value Agreement (OV) オープン ライセンス Open License Agreement (OL) ④ P.23	3 ライセンス以上	個別購入	永続および 非永続 ライセンス	3 年間 (Open Value) 2 年間 (Open License)	マイクロソフト 製品販売会社
マイクロソフト クラウド アグリーメント Microsoft Cloud Agreement (MCA) ④ P.24	1 ライセンス以上	個別購入	非永続 ライセンス	CSP との 契約に基づく	クラウド ソリューション プロバイダー (CSP)
マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント Microsoft Online Subscription Agreement (MOSA) ④ P.25	1 ライセンス以上	個別購入	非永続 ライセンス	12 か月	マイクロソフト の Web サイト から直接

1. サービスや製品のライセンスについて

マイクロソフトのオンライン サービスや オンプレミス製品のライセンスとは?

ライセンスはソフトウェアを使用する権利です。ソフトウェアは知的財産であり、ライセンスはそのソフトウェアを使用する権利を提供し、使用方法やバージョンなどの条件を定義しています。マイクロソフトでは、オンライン サービスとオンプレミス製品のライセンスを提供しています。



マイクロソフトのオンライン サービスの ライセンスとは

マイクロソフトのオンライン サービスは、Web 上で利用できるサービスで、マイクロソフトがシステムを運営します。利用者は、PC や Web ブラウザーを通して、日常業務で使用するアプリケーションにどこからでもアクセスすることができます。オンライン サービスのライセンスでは、契約期間中のみ対象のサービスにアクセスすることができます。

オンプレミス製品のライセンスとは

オンプレミス製品は、自社管理下にある設備機材にソフトウェアを導入して使用します。オンプレミス製品のライセンスには、ソフトウェアの導入後、必要な限り使い続けることができるライセンスと契約期間中のみ使用できるライセンスがあります。

永続ライセンスと非永続ライセンスとは

永続ライセンスは、ソフトウェアのライセンスを買い取る方式で、契約終了後もソフトウェアを使用し続けることができます。非永続ライセンスは、契約期間中のみソフトウェアを使用できる方式で、契約終了後はソフトウェアを使用することができなくなります。契約の更新によって利用期間を延長することができます。

マイクロソフト オンライン サービスのライセンス

ここでは主なオンライン サービスのライセンスを紹介します。

The diagram shows Microsoft Online Services on the left, represented by a globe icon with a person standing on a branch. To its right are four boxes, each representing a service and its associated license type:

- Microsoft 365**: Described as 'Microsoft's main online services'. It uses the 'Enterprise Mobility + Security' license type.
- Office 365**: Described as 'Office 365, Windows 10 Enterprise, Enterprise Mobility + Security'. It uses the 'Open License' (OL) license type.
- EMS**: Described as 'Enterprise Mobility + Security'. It uses the 'Open License' (OL) license type.
- Microsoft Dynamics 365**: Described as 'CRM and ERP integration'. It uses the 'Open License' (OL) license type.
- Microsoft Azure**: Described as 'Cloud-based business application'. It uses the 'Open License' (OL) license type.

購入可能なプログラム	OL	OV/OVS	MPSA	EA/EAS	SCE	SA	EES/ OVS-ES	MCA	MOSA
Microsoft 365			●	●			(EESのみ)	●	
Office 365	●	●	●	●		●	●	●	●
EMS	●	●	●	●		●	●	●	●
Microsoft Dynamics 365	●		●	●	●	●	●	●	●
Microsoft Azure	●	●		●	●	●	●	●	●

OL: オープン ライセンス

OV: オープン バリュー

OVS: オープン バリュー サブスクリプション

MPSA: マイクロソフト プロダクト アンド サービス アグリーメント

EA: エンタープライズ加入契約

EAS: エンタープライズ サブスクリプション加入契約

SCE: サーバーおよびクラウド加入契約

SA: スクール アグリーメント

EES: 教育機関向け総合契約

OVS-ES: オープン バリュー サブスクリプション 教育機関向け総合契約

MCA: マイクロソフト クラウド アグリーメント

MOSA: マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント

サブスクリプション ベースのライセンスで購入

サブスクリプションベースのライセンスとは、契約期間中のみソフトウェアを使用できる非永続ライセンスです。マイクロソフトのオンライン サービスは、サブスクリプションベースのライセンスで提供され、1 ユーザー (デバイス)/月単位、または 1 ユーザー (デバイス)/年単位でライセンスを購入します。オンライン サービスで購入できるサブスクリプションベースのライセンスには次の種類があります。

ユーザー サブスクリプション ライセンス (USL)	デバイス サブスクリプション ライセンス (DSL)	サービス サブスクリプション ライセンス (SSL)	アドオン サブスクリプション ライセンス (アドオン SL)
利用するオンライン サービスにアクセスするユーザーごとに取得するライセンスです。	利用するオンライン サービスにアクセスするデバイスごとに取得するライセンスです。	オンラインサービスの機能を組織全体で利用する場合に取得するライセンスです。利用サービスによって USL、DSL、アドオン SL が必要になる場合があります。	アドオン SL は、USL、DSL、SSL の代わり、あるいは追加で使用されるライセンスです。サービスによって異なる目的で使用されます。

ユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) の利用メリット

USL は、契約期間中に対象のオンライン サービスを利用する権利に加えて、その他にもメリットを提供します。たとえば、SharePoint Online USL を保有するユーザーは、SharePoint Online と組織内部に設置された SharePoint Server の両方にアクセスできます。また、Office 365 のサービスを利用する場合は USL の料金のみで、オンプレミスのサーバー ライセンスにあたる料金を支払う必要がなく、サーバーのライセンスやハードウェアの費用、ネットワーク周辺機器の購入費などを削減できます。オンライン サービスは、SLA (サービス品質保証) 99.9% の稼働率を保証するマイクロソフトのデータセンターで運用されるため、システムの保守や管理にかかる費用も不要になります。さらに、マイクロソフトによって提供される基本的なサポート サービスの利用料金も含まれています。USL は、オンプレミス製品の CAL に相当するサービスへのアクセス ライセンスの役割だけではなく、これら多くのメリットを包括した付加価値の高いライセンスです。



Microsoft 365 のライセンス

Microsoft 365 は、Office 365、Enterprise Mobility + Security (EMS)、Windows 10 Enterprise が含まれるユーザー単位のライセンスで購入できます。大規模組織向けの Microsoft 365 Enterprise には、E3 と E5 の 2 つのプランがあります。また、中小規模組織向けの Microsoft 365 Business もあります。

Microsoft 365 Enterprise のハイブリッド使用権でクラウド移行を支援

Microsoft 365 Enterprise のライセンスでは、オンライン サービスとオンプレミスの両方を利用できるハイブリッド環境での使用権が提供されるため、お客様は最適なタイミングでオンプレミス環境からクラウド環境へ移行することができます。この使用権には、Exchange、SharePoint、Skype for Business などの生産性サーバーの使用権が含まれているため、重要なワーカロードをオンプレミスに維持したままクラウド環境への移行が可能です。

ハイブリッドの権利	Full USL/Step-up USL	From SA USL
生産性サーバー	●	●
サーバー製品の無制限のインストール	●	●
Microsoft 365 のライセンスを取得したユーザー限定のアクセス	●	●
お客様専用のハードウェア サーバー展開のみ	●	●

Microsoft 365 Enterprise のライセンス購入について

お客様が現在保有しているライセンスによって、購入する Microsoft 365 Enterprise のライセンスのタイプが異なります。



初めてマイクロソフト製品をお使いになるお客様、または現在エンタープライズ アグリーメントを締結されていないお客様

Microsoft 365 を購入したことがなく新規に契約したいお客様、またはエンタープライズ アグリーメント契約を締結されていないお客様は Microsoft 365 Enterprise Full USL を購入します。

Microsoft 365 E3
Full USL

Microsoft 365 E5
Full USL

または

初めてマイクロソフト製品をお使いになるお客様、または現在エンタープライズ アグリーメントを締結されていないお客様

Microsoft 365 E3 Full USL、または Microsoft 365 E5 Full USL を購入することにより Microsoft 365 を利用できます。



すでにエンタープライズ アグリーメント契約を締結されているお客様

すでにエンタープライズ アグリーメント契約を締結済みの場合、以下のライセンスを購入することで、既存のオンライン サービスやオンプレミスへの投資を無駄にせずに、Microsoft 365 に移行できます。

1 Add-on USL の購入

現在 Office Professional Plus および Core CAL の対象ライセンスを保有中で、オンプレミスのライセンスを保有しながら、クラウドに完全に移行することなく、Microsoft 365 を利用したいお客様は、Add-on USL を購入できます。



Microsoft 365

Office Professional Plus および Core CAL の対象ライセンスを保有中のお客様

Microsoft 365 Add-on USL を購入することにより、Microsoft 365 の機能を満たすライセンスを追加でき、Microsoft 365 に移行することができます。

2 From SA USL の購入

現在 Enterprise Desktop Platform/Professional Desktop Platform (P.17 参照) の対象ライセンスを保有中で次の更新時にクラウドへの移行を検討中のお客様は契約更新時に From SA USL を購入できます。



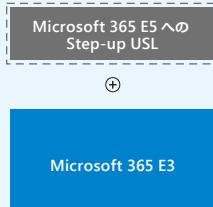
Microsoft 365

Enterprise Desktop Platform/Professional Desktop Platform の対象ライセンスを保有中で次の更新時にクラウドへの移行を検討中のお客様

契約更新時に全額支払済みの永続的ライセンスに対するソフトウェア アシュアランスの代わりに From SA USL を購入することにより、Microsoft 365 に移行することができます。

3 Step up USL の購入

Microsoft 365 Enterprise E3 のライセンスを保有済みで、Microsoft 365 Enterprise E5 へ移行したいお客様は Step up USL を購入できます。



Microsoft 365 E5

Microsoft 365 E3 を現在ご利用中のお客様

Microsoft 365 E5 Step-up USL を購入することにより、E5 の機能を満たすライセンスを追加購入でき、Microsoft 365 E5 に移行することができます。

Microsoft 365 Enterprise の詳細はこちら → http://aka.ms/VL_M365E

Office 365 のライセンス

Office 365 は、利用者数が無制限の大規模な組織向けの Office 365 ProPlus および Office 365 Enterprise と 300 名まで利用できる中小規模組織向けの Office 365 Business をユーザー単位のライセンスで購入できます。Office 365 Business には Business、Premium、Essentials の 3 プラン、Office 365 Enterprise には E1、E3、E5 の 3 プランがあります。また、Office 365 ProPlus、Exchange Online、SharePoint Online、Skype for Business Online などの豊富なアプリケーションを単体で購入することもできます。

Office 365 Enterprise のライセンス購入について

お客様が現在保有しているライセンスによって、購入する Office 365 のライセンスが異なります。



初めてマイクロソフト製品をお使いになるお客様、または現在エンタープライズ アグリーメントを締結されていないお客様

Office 365 を購入したことがなく新規に契約したいお客様、または新規にユーザーを追加したいお客様は Office 365 Full USL を購入します。



すでにエンタープライズ アグリーメント契約を締結されているお客様

すでにエンタープライズ アグリーメント契約を締結済みの場合、以下のライセンスを購入することで、既存のオンライン サービスやオンプレミスへの投資を無駄にせずに、Office 365 に移行できます。

1 Add-on USL の購入

現在 Enterprise CAL Suite や Core CAL Suite、Office Professional Plus などの対象ライセンスを保有中で、オンプレミスのライセンスを保持しながら、クラウドに完全に移行することなく、Office 365 を利用したいお客様は Add-on USL を購入できます。

2 From SA USL の購入

現在 Enterprise CAL Suite や Office Professional Plus などの対象ライセンスを保有中で、次の契約更新時にクラウドへの移行を検討中のお客様は From SA USL を購入できます。

3 Step up USL の購入

Office 365 E3 のライセンスをすでに保有しているお客様が、Office 365 E5 にアップグレードする場合には Step-up USL を購入できます。

Office 365 の詳細はこちら ↳ https://aka.ms/VL_O365

Enterprise Mobility + Security (EMS) のライセンス

EMS は、Azure Active Directory Premium、Microsoft Intune、Azure Information Protection Premium、Advanced Threat Analytics、Cloud App Security、Windows Server の製品が統合されたユーザー単位のライセンスで購入できます。EMS には E3 と E5 の 2 つのプランがあり、E5 では、よりハイエンドなエンタープライズ向けの高度なセキュリティ機能を提供します。また、EMS には、Windows Server CAL の権利も含まれています。

EMS のライセンス購入について

お客様が現在保有しているライセンスによって、購入する EMS のライセンスが異なります。



初めてマイクロソフト製品をお使いになるお客様、または現在エンタープライズ アグリーメントを締結されていないお客様

EMS を購入したことがなく新規に契約したいお客様、または新規にユーザーを追加したいお客様は EMS Full USL を購入します。



すでにエンタープライズ アグリーメント契約を締結されているお客様

すでにエンタープライズ アグリーメント契約を締結済みの場合、以下のライセンスを購入することで、既存のオンライン サービスやオンプレミスへの投資を無駄にせずに、EMS に移行できます。

1 Add-on USL の購入

現在 Enterprise CAL Suite や Core CAL Suite、Bridge CAL などの対象ライセンスを保有中で、オンプレミスのライセンスを保持しながら、EMS を利用したいお客様は Add-on USL を購入できます。

2 From SA USL の購入

現在 Core CAL Suite や Enterprise CAL Suite などの対象ライセンスを保有中で、次の契約更新時にクラウドへの移行を検討中のお客様は From SA USL を購入できます。

3 Step up USL の購入

EMS E3 のライセンスをすでに保有しているお客様が、EMS E5 にアップグレードする場合には、Step up USL を購入できます。

Enterprise Mobility + Security の詳細はこちら ↳ https://aka.ms/VL_EMS

Dynamics 365 のライセンス

Dynamics 365 は、クラウドで提供されるインテリジェントなビジネス アプリケーションです。Dynamics 365 サービスに直接的または間接的にアクセスする組織またはその関連会社の従業員、オンラインのエージェント、ベンダー、契約社員のサブスクリプション ライセンス (SL) を購入する必要があります。Dynamics 365 は、ユーザー SL またはデバイス SL のいずれか一方で利用できます。あるデバイスを使用するユーザーがユーザー SL を取得している場合、そのデバイスにデバイス SL を別途割り当てる必要はありません。同様に、あるデバイスにデバイス SL が割り当てられている場合、そのデバイスを使うユーザーがユーザー SL を取得する必要はありません。

ライセンスの提供方法

Dynamics 365 では、指定ユーザー単位のサブスクリプション ライセンスを提供します。Dynamics 365 のユーザー サブスクリプションでは、ユーザーが「フルユーザー」と「ライトユーザー」の 2 種類に分類されます。

フルユーザー向け

プランと単一アプリケーションのオプション

フルユーザーとは、ビジネスアプリケーションの機能を積極的に利用するユーザーを指します。複数のアプリケーションを利用するフルユーザーは Dynamics 365 Plan サブスクリプション、単一のアプリケーションを利用するフルユーザーは Dynamics 365 アプリケーション サブスクリプションでライセンスを取得します。



フルユーザー

Dynamics 365 のビジネス アプリケーションの豊富な機能を操作するユーザー

- ・ 営業担当者
- ・ カスタマー サービス担当者
- ・ 財務担当者
- ・ 監査役など

ライトユーザー向け

Team Members

Team Members サブスクリプションは、特定の事業部門と結び付いてはいないものの、Dynamics 365 の全アプリケーションの参照が必要なチーム メンバーを対象とする、指定ユーザー単位のサブスクリプションです。アプリケーションにより対応できる機能が異なります。



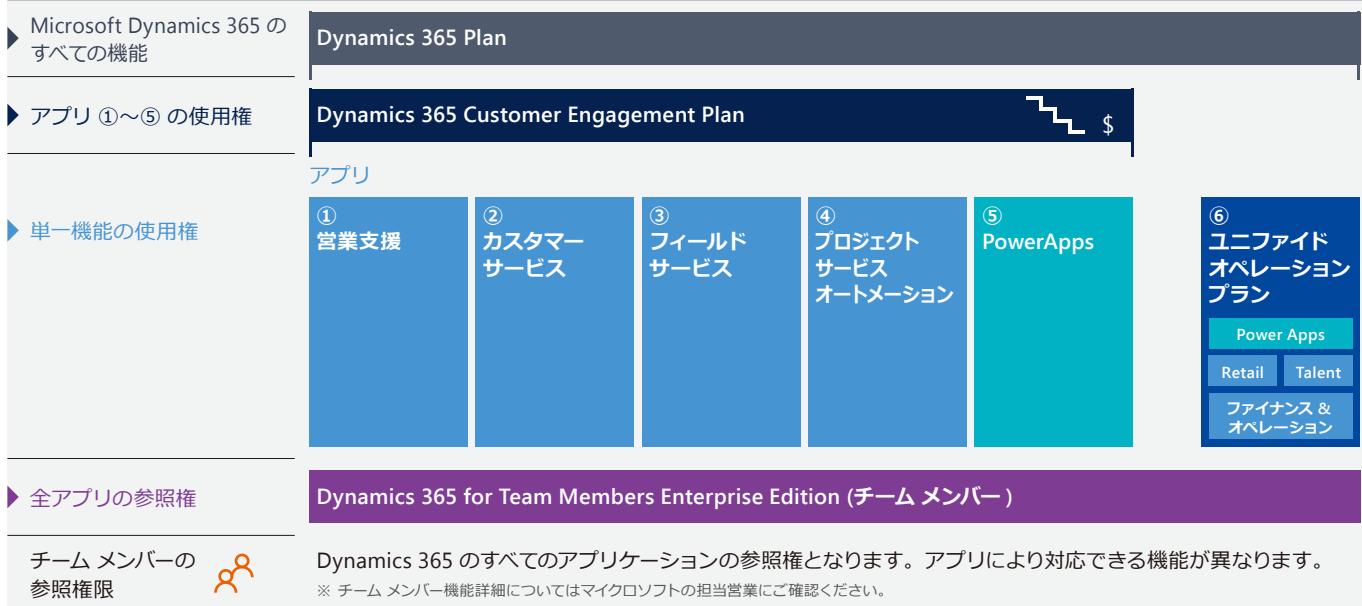
ライトユーザー

データやレポートの参照、時間/費用の入力、人事記録の更新などの簡単な業務を行うユーザー



購入方法とパッケージングについて

フルユーザーに単一の機能が必要な場合は、購入するアプリケーションを選択します。フルユーザーに複数の機能が必要な場合は、Dynamics 365 Plan または Dynamics 365 Customer Engagement Plan から選択します。ライトユーザーに参照権限が必要な場合は、全アプリケーションの参照が可能な Dynamics 365 for Team Members Enterprise Edition を購入します。



デュアル ユースの権利を付与

Dynamics 365 のデュアル ユーザーの権利により、サーバー ソフトウェアをマイクロソフトのクラウドとして展開するか、自社のオンプレミスやパートナーがホストするプライベート クラウドとして利用するかを選択することができます。デュアル ユースには次の権利があります。

- オンプレミス/クラウド (Azure を含む) 展開用ユーザー サブスクリプション ライセンス (USL) を購入するとサーバー ライセンスおよびインストール数制限なしのサーバーを使用可能
- デュアル ユースの権利を使用して展開されたサーバーへのアクセスに既存の CAL を適用可能
- クラウド USL でオンプレミス サーバーにアクセス可能
- ハイブリッド環境を使用可能、自社のベースでクラウドに移行可能

Microsoft Azure のライセンス

Microsoft Azure では、利用するサービスやデータセンターのリージョンにより料金が異なります。Azure のサービスは使用した分だけ支払う従量課金制ですが、サービスによって稼働時間、インスタンス数、容量、サービス レベルなどのように課金対象が変わってきます。また、前払いによる定額制での支払いに対応する Azure プランも提供しています。

Microsoft Azure で提供される製品グループ

Microsoft Azure では、3 つの製品グループに分けて提供しています。

Azure サービス	Azure プラン	Azure Marketplace
<ul style="list-style-type: none"> Virtual Machines Storage Content Delivery Network (CDN) など <p>【特徴】 使用量が測定されるリソース</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな展開ニーズに対応 使用した分だけ支払う形式 	<ul style="list-style-type: none"> Azure Active Directory (AD) Operations Management Suite (OMS) など <p>【特徴】 事前構成済みのリソース</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 年間の料金を前払い 予測可能なデプロイメントに最適 	<ul style="list-style-type: none"> SendGrid MongoDB Oracle Database など <p>【特徴】 サードパーティが提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 従量課金制が適用される Azure ベースのソリューション向け

お支払い方法について

お支払い方法は Azure の製品グループごとに異なります。

Azure サービス	Azure プラン	Azure Marketplace
<p>2 つの支払いオプションがあります*。</p> <p> 従量課金制</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月または 3 か月に 1 回の支払い* サービスを使用した分だけ支払う サービス使用料を後払い <p> 前払い方式</p> <ul style="list-style-type: none"> プリペイドモデル (オートチャージなし) 一定額の金額を前払い、 サービス使用料を差し引き 前払い金額を超過すると 従量課金制で課金 Azure プラン、Azure Marketplace、 サポートや他の製品やサービスでは 利用不可 <p>* ライセンス プログラムによって異なります。</p>	<p> 1 年間の料金を前払い</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定のサービス/サービス スイート に対するサブスクリプション 定額料金で提供 前払い金額からの差し引きなし 超過分は従量課金制で課金 プランまたはスイートには 年額コミットメントは利用不可 	<p> 従量課金制</p> <ul style="list-style-type: none"> 従量課金制と四半期ごとに請求 される超過料金として請求される ケースがあり* ほとんどの コマーシャル ライセンス契約を 通じて課金請求が可能 前払い金額からの差し引きなし

* ライセンス プログラムによって異なります。

ライセンス プログラムと対応する購入オプション

	前払い	従量課金制	Entitlement プラン	Per User プラン	Marketplace
エンタープライズ アグリーメント (EA)/ 教育機関向け総合契約 (EES)	●	●	●	●	●
マイクロソフト クラウド アグリーメント (MCA)		●		●	
マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント (MOSA)		●		●	●
オープン プログラム	●			●	

Azure の詳細はこちら https://aka.ms/VL_Azure

Azure Reserved VM (Virtual Machine) Instances の利用とライセンス

Azure Reserved VM Instances は、Azure で提供される Virtual Machine サービスの仮想マシンを 1 年または 3 年の期間を指定して予約するサービスです。1 年または 3 年の期間で、Windows や Linux の仮想マシンを利用した場合、従量課金モデルに比べて最大で 72% の費用削減を期待できます。さらに、Azure Reserved VM Instances と Azure Hybrid Benefit を組み合わせることで、約 80% のコスト削減も可能になります。リージョン、サイズ、期間を選択するだけで簡単に購入できるとともに、1 年または 3 年の事前一括払いなので、より正確な予算の編成と予測が可能になります。

Azure Reserved VM Instances を購入できるライセンス プログラム

- エンタープライズ アグリーメント (EA)
- エンタープライズ アグリーメント サブスクリプション(EAS)
- サーバーおよびクラウド加入契約 (SCE)
- 教育機関向け総合契約 (EES)
- マイクロソフト クラウド アグリーメント (MCA)

Azure Reserved VM Instances への対応

利用可能な仮想マシンのシリーズ

- 以下を除くすべての仮想マシン シリーズ
- A シリーズ VM
 - A v2 シリーズ VM
 - G シリーズ VM



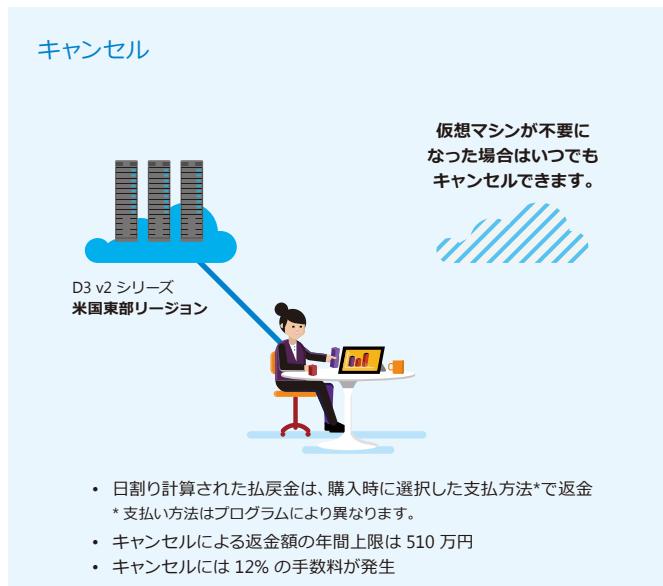
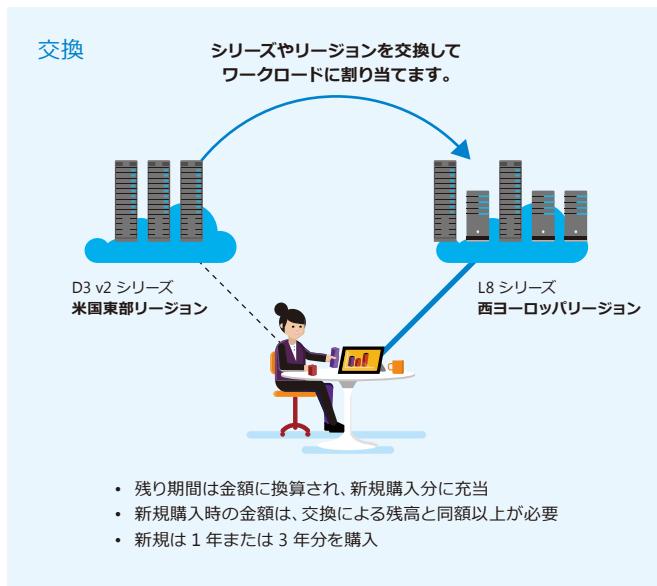
利用可能なデータセンター リージョン

以下が主催するクラウドを除く
データセンター

- 米国政府機関および米国国防総省
- ドイツ中部およびドイツ北東部
- 中国

シリーズやデータセンターの交換、不要になった場合のキャンセルがいつでも可能

プロジェクトの変化などに応じて仮想マシンのシリーズやリージョンを交換することができます。また、購入した仮想マシンが不要になった場合は、いつでもキャンセルできます。



※ 本情報は、2018 年 1 月時点の情報であり、予告なしに変更されることがあります。

契約またはサブスクリプションへの割り当てが可能

Azure Reserved VM Instances を契約レベルで割り当てたり、サブスクリプションレベルで柔軟に割り当てることができます。



Azure Reserved VM Instances の詳細はこちら https://aka.ms/VL_AzureRVM

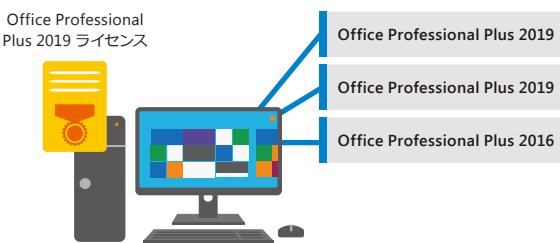
オンプレミス製品のライセンスについて

ここではオンプレミス製品のライセンスをご紹介します。

Microsoft Office 製品のライセンス

デバイス単位のライセンス

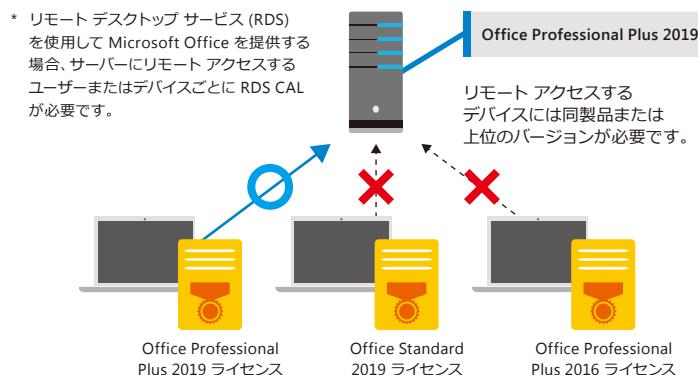
ローカルで Office 製品を使用するデバイスごと、またはネットワーク経由でリモート アクセスして Office 製品を使用するデバイスごとに、Office 製品のライセンスを取得する必要があります。なお、プレインストール PC の Office 製品のライセンスを別の PC に移管することはできません。



- ライセンスを取得したデバイスに複数のコピーをインストールして使用可能
- 以前のバージョンの使用も可能（コマーシャル ライセンスの場合のみ）

リモート アクセスには同製品か上位のバージョンが必要

コマーシャル ライセンスのリモート 使用権により、Office 製品をデスクトップやサーバー*などの単一のデバイスにインストールし、複数のユーザーがライセンス取得済みデバイスからリモート アクセスして使用することができます。リモート アクセスに使用するデバイスは、下位エディションや以前のバージョンではなく、同製品または上位のバージョンのライセンスを取得している必要があります。



クライアント OS のライセンス (Windows)

デバイス単位とユーザー単位のライセンス

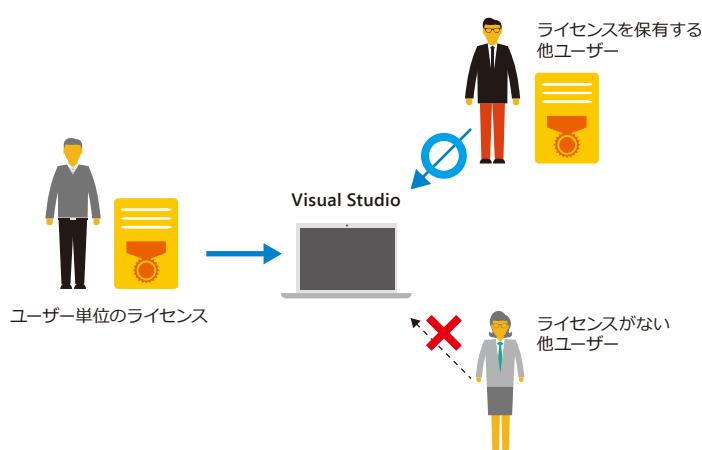
コマーシャル ライセンスで提供される Windows Enterprise と Windows VDA (Virtual Desktop Access)は、デバイス単位またはユーザー単位でライセンスを購入できます。中小規模向けの Windows Pro はデバイス単位のライセンスで購入できます。

	Windows Enterprise E3/E5 per Device	Windows Enterprise E3/E5 per User	Windows VDA per Device	Windows VDA per User
ライセンス モデル	デバイスごと	ユーザーごと、デバイスの制限なし	デバイスごと	ユーザーごと、デバイスの制限なし
必要要件	すべてのデバイスに Windows Pro が必要	プライマリー デバイスのみ Windows Pro が必要	デバイスごとに VDA ライセンスが必要	デバイスのライセンスは必要なし
Enterprise のローカル インストール	単一デバイスのみ	Windows 7/8/8.1/10 Pro 搭載デバイスすべて、もしくは 10.1 インチ以下の Windows タブレット	Windows 10/8.1 Pro もしくは Enterprise、または Windows 7 Professional もしくは Enterprise 搭載デバイス	Windows 7/8/8.1/10 Pro 搭載デバイスすべて、もしくは 10.1 インチ以下の Windows タブレット
VDI	単一デバイスのみで利用可能	すべてのデバイスで利用可能	単一デバイスのみで利用可能	すべてのデバイスで利用可能

開発ツールのライセンス (Visual Studio Subscription など)

ユーザー単位のライセンス

開発ツールは、ユーザーごとにライセンスされます。ライセンスを持つユーザーは複数の PC にインストールできますが、その PC を他の人が使用する場合には、Visual Studio Subscription などの適切なライセンスを取得している必要があります。設計、開発、テスト、デモンストレーションの用途であれば、ライセンスを保有する人は複数の PC にインストールして使用することができます。既にインストールされた環境であっても、ライセンスを保有していない人は、開発ツールを使用できません。また、ライセンスを保有していても文書作成やメールなどの一般業務に使用することはできません。



サーバー OS のライセンス (Windows Server)

物理コア単位のサーバー ライセンス

Windows Server Datacenter/Standard のサーバー ライセンスは物理コア単位で購入できます。

ライセンスは次のように取得します。

- すべての物理コア分のライセンスが必要
- 物理プロセッサごとに最低 8 個のコア ライセンスが必要
- 物理サーバーごとに最低 16 個のコア ライセンスが必要

Datacenter では無制限の仮想 OSE または Hyper-V コンテナーを使用できます。Standard では、すべての物理コアのライセンスを購入している場合、2 つの OSE または Hyper-V コンテナーを使用できます。なお、コマーシャル ライセンスでは、コア ライセンスを 2 コア パックおよび 16 コア パックで販売します。

コア ライセンス数の考え方 ①
(例: 4 コアのプロセッサ × 1 基の場合)



必要なライセンス数: 16 コア ライセンス

- 1 プロセッサあたり最低 8 コア ライセンスが必要
- 1 サーバーあたり最低 16 コア ライセンスが必要

コア ライセンス数の考え方 ②
(例: 12 コアのプロセッサ × 2 基の場合)



必要なライセンス数: 24 コア ライセンス

- 1 プロセッサあたり 12 コア ライセンスが必要
- 12 コア × 2 プロセッサで 24 コア ライセンスが必要

Standard エディションの仮想インスタンスを追加するには

2 つの仮想 OSE または Hyper-V コンテナーの権利を割り当てたサーバーのコアライセンス数を 1 単位として、必要な仮想 OSE/Hyper-V コンテナーの数を満たすよう追加します。

例えば、12 コアのプロセッサ 2 基のサーバーで Standard のライセンスを購入する場合



仮想 OSE/Hyper-V コンテナーの使用可能数

- 24 コア ライセンス購入: 2 つまで
- 48 コア ライセンス購入: 4 つまで
- 72 コア ライセンス購入: 6 つまで

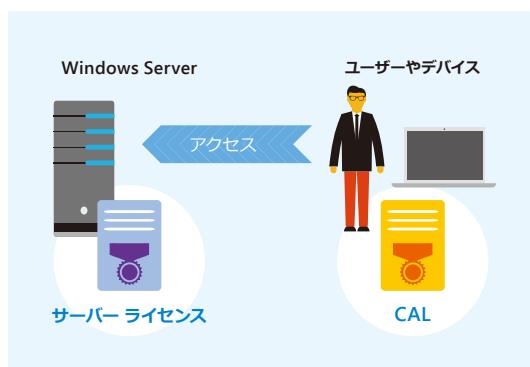
アクセスするユーザーやデバイスごとに CAL が必要

Windows Server Datacenter/Standard に直接的または間接的にアクセスするユーザーまたはデバイスごとに CAL (クライアント アクセス ライセンス) が必要です。Windows Server ではユーザー単位およびデバイス単位の CAL を提供します。最新バージョンの Windows Server にアクセスするためには、最新の Windows Server CAL が必要になります。以前のバージョンの CAL を取得したユーザーまたはデバイスから最新の Windows Server にアクセスすることはできません。なお、次のようなケースでは CAL は不要です。

- ライセンスを取得した別のサーバー (Windows Server のバージョンは問いません) にアクセスする場合
- Web ワークロード* または HPC ワークロードを実行している Windows Server にアクセスする場合
- 仮想 OSE のホスティングおよび管理のみに使用されている物理 OSE にアクセスする場合など

* Web ワークロード (インターネット Web ソリューション):

「インターネット Web ソリューション」は、公的にアクセス可能であり、Web ページ、Web サイト、Web アプリケーション、Web サービス、または POP3 メール サービスでのみ構成されます。インターネット Web ソリューションで本ソフトウェアによって提供されるコンテンツ、情報、およびアプリケーションへのアクセスは、お客様またはお客様の関連会社の従業員だけに限定されないものとします。



RDS や RMS 用の CAL も提供

RDS (リモートデスクトップ サービス) や RMS (Rights Management サービス) を実行する Windows Server にアクセスするには、それぞれ RDS CAL または RMS CAL が必要です。RDS CAL と RMS CAL にもユーザー単位とデバイス単位の CAL が用意されています。

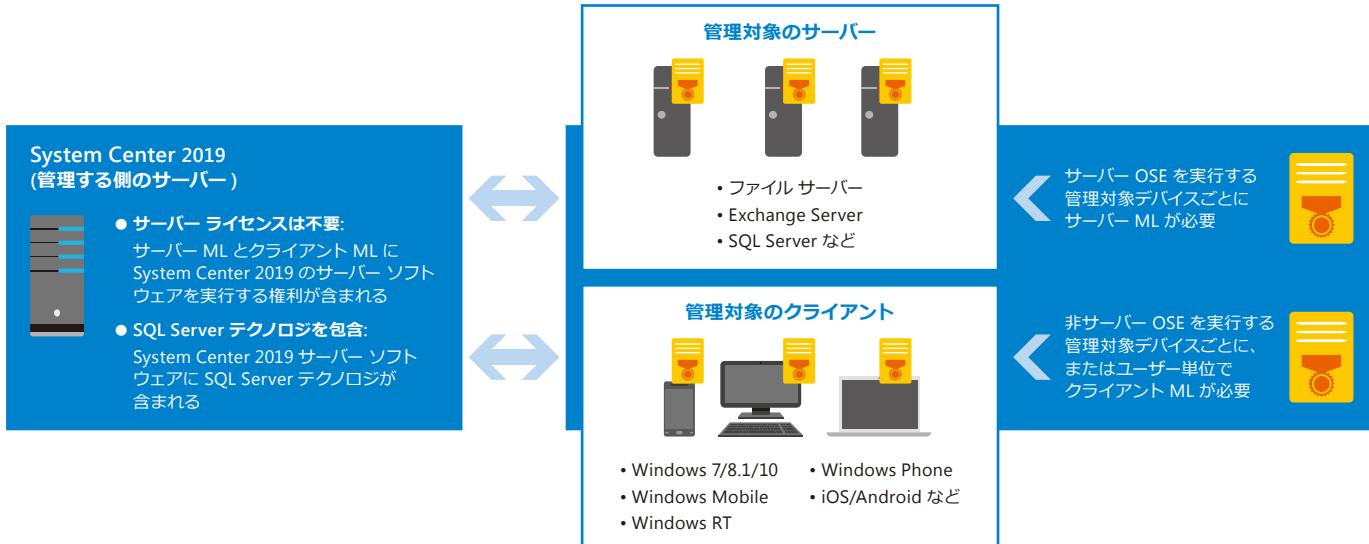
外部ユーザー用のエクスターナル コネクタ ライセンス

ビジネス パートナーや顧客などの外部ユーザーが、外部から社内のサーバーにアクセスするような場合には、エクスターナル コネクタ ライセンス (EC) を購入することによって、外部ユーザーが特定の物理サーバー上のすべてのインスタンス (仮想化環境を含む) にアクセスすることができます。RDS 用の EC や RMS 用の EC も購入できます。

管理サーバーのライセンス (System Center)

管理対象ごとに管理ライセンス (ML) が必要

System Center の各コンポーネントによって管理されるサーバーやクライアントの OSE (Operating System Environment) ごとに管理ライセンス (ML) が必要です。管理対象がサーバー製品 (ファイルサーバーや Exchange Server、SQL Server など) の場合には「サーバー ML」が必要です。また、管理対象がクライアント製品 (Windows 10/8.1 など) の場合には「OSE 単位またはユーザー単位でのクライアント ML」が必要になります。なお、System Center 2019 サーバー ソフトウェアの実行権は、ML に含まれているため、System Center のサーバー ライセンスは必要ありません。



コア単位で購入するサーバー ML

System Center には、Datacenter と Standard の 2 つのサーバー ML があります。両エディションのサーバー ML に必要なコアライセンスの数は、管理対象サーバーの物理コアの数と同数になります。また、物理プロセッサあたり 8 つのコアライセンス、およびサーバーあたり 16 のコアライセンスの最小要件が適用されます。コマーシャルライセンスでは 2 コアパックおよび 16 コアパックで販売します。Datacenter の場合、管理対象サーバー上のすべての物理コアのライセンスを取得すると、そのサーバー上の無制限の OSE を管理できます。Standard の場合、管理対象サーバー上のすべての物理コアのライセンスを取得すると、そのサーバー上で 2 つの OSE/Hyper-V コンテナーを管理できます。追加の OSE を管理するには、再度すべての物理コアのライセンスを取得する必要があります。

OSE 単位またはユーザー単位で購入するクライアント ML

System Center の管理対象が、Windows 10 や Mac OS などのサーバー OSE 以外の場合、クライアント ML が必要です。System Center のクライアント ML は、OSE 単位の購入に加えて、ユーザー単位でも購入できるため、自社環境に適した単位でライセンスを購入いただけます。System Center では、Configuration Manager (Virtual Machine Manager を含む)、Operations Manager、Endpoint Protection (ユーザーまたはデバイス単位のサブスクリプションライセンス)、Service Manager、Data Protection Manager、Orchestrator の 6 つのクライアント ML を提供します。なお、System Center 2019 クライアント ML は、コンポーネントによって、CAL スイート製品である Core CAL および ECAL で購入することもできます。

お得な CAL スイート製品

さまざまなアプリケーションにアクセスするクライアントを System Center で管理する場合、CAL スイート製品であるCore CAL と ECAL (Enterprise CAL) をお勧めします。Core CAL には、Configuration Manager および Endpoint Protection のクライアント ML に加えて、Windows Server CAL、Exchange Server Standard CAL などが含まれています。ECAL は、Core CAL に加えて、Advanced Threat Analytics Client Management License、Exchange Server Enterprise CAL や SharePoint Server Enterprise CAL など、CAL とサブスクリプションライセンスを 1 つのスイート製品で提供し、個別にライセンスを購入するよりもお手頃にライセンスを購入できるため、導入コストとライセンス管理の負担を削減できます。

ECAL のライセンスは、直接購入することも、Core CAL スイートのライセンスからのステップアップで入手することもできます。

Enterprise CAL

- Windows Server Active Directory Rights Management Services CAL
- Exchange Server Enterprise CAL with Services (Data Loss Prevention および Exchange Online Protection を含む)
- Exchange Online with Archiving for Exchange Server
- SharePoint Server Enterprise CAL
- Skype for Business Server Enterprise CAL
- Advanced Threat Analytics Client Management License

Core CAL

- Windows Server CAL
- Exchange Server Standard CAL
- SharePoint Server Standard CAL
- Skype for Business Server Standard CAL
- System Center Configuration Manager Client Management License (Virtual Machine Manager のクライアント ML を含む)
- System Center Endpoint Protection Client Management License

サーバー製品のライセンス (SQL Server/Exchange Server など)

コア単位のライセンス (SQL Server)

SQL Server Enterprise、Standard または含まれるコンポーネント (Reporting Services, Integration Services など) を実行する各サーバーでは、SQL Server のコア ライセンス数を適切に割り当てる必要があります。必要なコア ライセンス数は、個々の仮想 OSE と物理 OSE のどちらにライセンスを適用しているかによって異なります。コア ベースのライセンスは、SQL Server に接続できるユーザー数やデバイス数に制限はありません。また、別途クライアント アクセス ライセンス (CAL) を購入する必要はありません。なお、Standard はサーバー /CAL によるライセンス モデルでも購入できます。

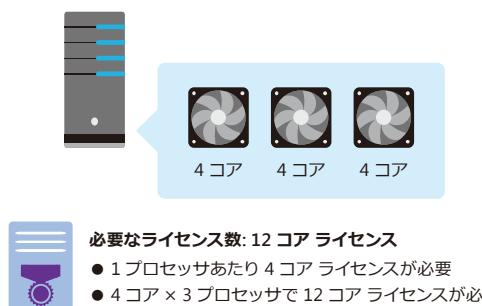
プロセッサごとの物理コア 数	1	2	4	6	8
必要な SQL Server のライセンス数	4	4	4	6	8

プロセッサごとに最低 4 つのライセンスが必要です。コマーシャル ライセンスでは 2 コア パックで販売します。

SQL Server Enterprise では、必要な数のライセンスを割り当てたサーバーごとに、そのサーバーに割り当てられたライセンスの数と同数の物理 OSE または仮想 OSE 内で、任意の数のインスタンスを実行できます。サーバーに割り当てる追加ライセンスごとに、そのライセンス取得済みサーバー上の追加 OSE でインスタンスを実行できます。Standard では、必要な数のライセンスを割り当てたサーバーごとに、サーバー上の物理 OSE 内で任意の数のインスタンスを実行できます。

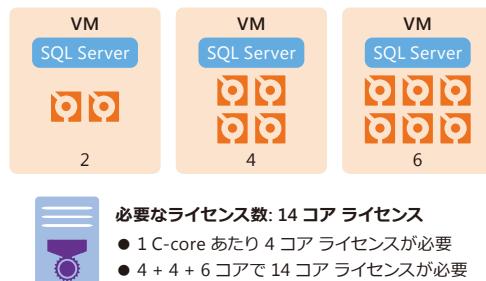
サーバー上の物理コア単位でライセンスを取得する場合

SQL Server を物理 OSE で実行する場合、サーバー上のすべての物理コアにライセンスが必要です。ソフトウェア パーティショニングでコア ライセンスの必要数が減ることはあります。サーバー上の物理プロセッサごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。



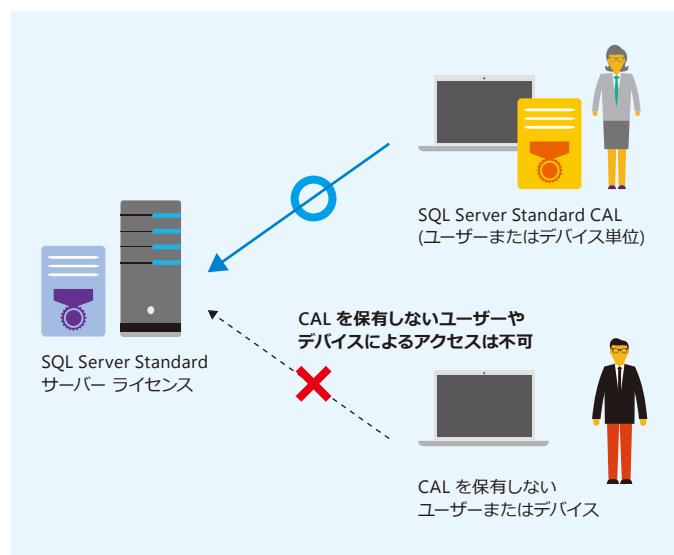
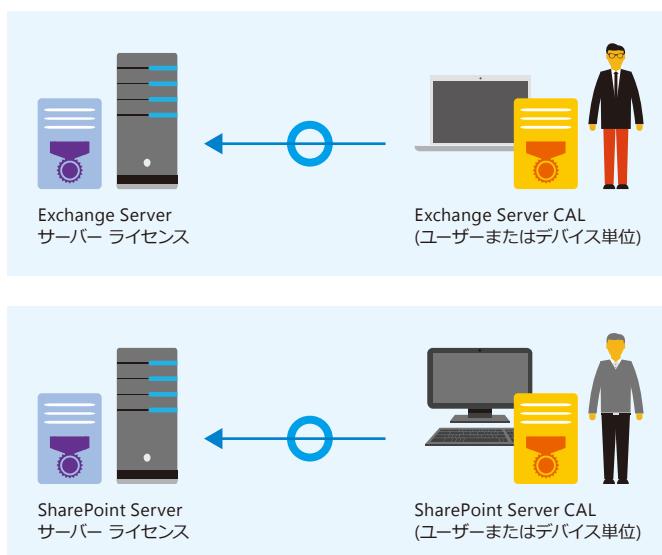
仮想 OSE 単位でライセンスを取得する場合

SQL Server のインスタンスを実行する仮想 OSE をサポートするすべての仮想コアのライセンスを取得する必要があります。個々 VM にライセンスを適用するは、VM に割り当てられた各 v-core (または仮想プロセスまたは仮想プロセッサ、仮想 CPU、仮想スレッド) ごとにコア ライセンスを 1 つ購入する必要があります (VM ごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です)。



サーバー /CAL によるライセンス (SQL Server Standard/Exchanger Server, SharePoint Server など)

SQL Server Standard や Exchange Server などのサーバー製品では、サーバー ライセンスと CAL の組み合わせでライセンスを購入できます。サーバー /CAL ライセンス モデルでは、サーバー ソフトウェアまたはそのいずれかのコンポーネントを実行するオペレーティング システム環境 (OSE) ごとに、その OSE のホストとなる物理サーバーにサーバー ライセンスを割り当てる必要があります。取得したサーバーの各ライセンスにつき、ライセンスを取得したサーバー上の物理 OSE または仮想 OSE のいずれかで、サーバー ソフトウェアの 1 つの実行インスタンスを使用することができます (SQL Server は 1 ライセンスで任意のインスタンスを実行可能)。また、サーバー ソフトウェアまたはそのコンポーネントを利用するデバイスごとまたはユーザーごとに該当するサーバー ソフトウェアのクライアント アクセス ライセンス (CAL) が必要になります。



2. コマーシャル ライセンス プログラムについて

エンタープライズ アグリーメント

Enterprise Agreement (EA)

一般企業	ユーザー / デバイス数 500 以上	契約期間 3 年間	ソフトウェア アシュアランス 付き	年額払い	ライセンス 数による 価格設定 A ~ D	包括契約
------	------------------------	--------------	-------------------------	------	--------------------------------	------

エンタープライズ アグリーメント フォー ガバメント パートナーズ

Enterprise Agreement for Government Partners

公共機関	ユーザー / デバイス数 250 以上	契約期間 3 年間	ソフトウェア アシュアランス 付き	年額払い	公共機関 向けの 特別価格	包括契約
------	------------------------	--------------	-------------------------	------	---------------------	------

予算管理の簡略化と、投資対効果の最大化を実現

- 中・大企業様向けのプログラムで次の 3 つの加入契約があり、これらの加入契約では、お客様組織の目的を満たすマイクロソフトのソリューションをコスト効果の高い方法でライセンスを取得できます。
 - ▶ エンタープライズ加入契約: デスクトップ環境の標準化
 - ▶ エンタープライズ サブスクリプション加入契約: サブスクリプション ベースのライセンス利用で初期費用を低減
 - ▶ サーバーおよびクラウド加入契約: サーバー プラットフォーム テクノロジの標準化
- ソフトウェア アシュアランス (P.27 参照) が標準で装備されているため、常に最新のマイクロソフトのテクノロジ入手でき、お客様の IT 投資の最大の価値を引き出すことを支援する様々な特典が利用可能です。
- 関連会社を含めた組織全体での導入により、ソフトウェアの標準化や一元管理が可能です。
- 契約期間内の年額払いが可能なので、ソフトウェア導入費用の削減と予算化を実現します。
- 公共機関のお客様向けライセンスは政府機関パートナーを通じて提供されます。

エンタープライズ加入契約 (EE)

最新の Windows OS、Office、CAL スイートのオンプレミス製品のライセンスや、Office 365 や EMS などのオンライン サービスのライセンスを組織全体に対して契約できます。お客様のニーズに合わせて、オンプレミス製品またはオンライン サービスを選んだり、組み合わせたりすることができます。デバイス単位で選択する場合は Enterprise Desktop Platform/Professional Desktop Platform として購入できます。また、ユーザー単位でのライセンスをご希望の場合は、Microsoft 365 E3/E5 (P.7 参照) を購入できます。

契約期間

契約期間は 3 年間です。契約期間内に、製品の新バージョンが発売された場合は自由にアップグレード可能です。



購入条件



エンタープライズ製品を発注する場合は、全組織で契約が必要で、すべてのデバイス/ユーザーを含め 1 つの製品群で 500 以上の購入が必要です。また、エンタープライズ オンライン サービス製品のみを発注する場合は、1 つの製品群で 500 以上の購入が必要です。



エンタープライズ製品を発注する場合は、全組織で契約が必要で、すべてのデバイス/ユーザーを含め 1 つの製品群で 250 以上の購入が必要です。また、エンタープライズ オンライン サービス製品のみを発注する場合は、1 つの製品群で 250 以上の購入が必要です。

対象製品

購入条件を満たす必要のある製品

■ エンタープライズ製品:

Office Professional Plus、Enterprise CAL Suite/Core CAL Suite、Windows Enterprise、およびこれら 3 つの製品が統合された Enterprise Desktop Platform/Professional Desktop Platform

■ エンタープライズ オンライン サービス製品:

Office 365、Enterprise Mobility + Security、Windows 10 Enterprise、およびこれら 3 つの製品が統合された Microsoft 365

※ 上記以外の製品については追加購入製品として 1 ライセンスから購入いただけます。

価格設定

エンタープライズ加入契約の場合、価格レベルは各グループごとのライセンス数を使用して決定されます。公共機関は、購入したライセンス数に関係なく、公共機関向けの特別価格が適用されます。

グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
Office Professional Plus + Office 365 ProPlus + Office 365 (プラン E3 および E5) + Microsoft 365 USL	Client Access License + Office 365 (プラン E1, E3 および E5) + Microsoft 365 USL	Client Access License + Microsoft Intune + Enterprise Mobility + Security (EMS) USL + Microsoft 365 USL	Windows Enterprise with SA (Per Device) + Windows VDA (Per Device) + Windows Enterprise E3 / E5 (ともに Per User) + Windows VDA E3 / E5 (ともに Per User) + Microsoft 365 E3 / E5 (ともに Per User)

最大数量のグループの価格レベルを使用して主要製品 (エンタープライズ製品 + エンタープライズ オンライン サービス製品) の価格レベルが決定されます。追加購入製品の価格レベルは、対応する製品群によって決定されます。

- アプリケーション製品群: グループ 1
- サーバー製品群: グループ 2 または 3 の最大数量
- システム製品群: グループ 4
- エンタープライズ製品またはエンタープライズ オンライン サービスを発注しなかった場合、その製品群の追加購入製品は価格レベル A となります。

価格レベル	ライセンス数		
A	500 以上	2,400 未満	1 ライセンスあたりの年額料金を決定
B	2,400 以上	6,000 未満	
C	6,000 以上	15,000 未満	
D	15,000 以上		

購入例

お客様の対象デスクトップ数が 5,000、対象ユーザー数が 7,000 で、以下を発注した場合の購入例です。

- Office × 4,800
- Office 365 プラン E3 × 200
- Windows × 5,000
- SQL Server × 100

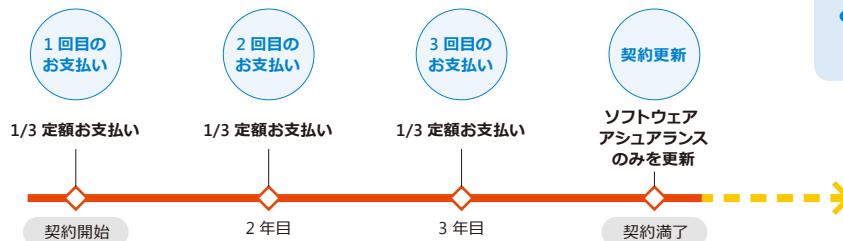
グループ 1	グループ 2	グループ 3	グループ 4
5,000	200	0	5,000

価格レベル | ● 主要製品 (Office, Windows, Office 365): レベル B
● 追加購入製品 (SQL Server): レベル A

支払方法

年額払いでお支払いいただけます。

初回発注 (3 年間分) の合計金額を 3 回に分けて年初にお支払いいただけます。



さらに柔軟なお支払い方法も検討いただけます。

- 「マイクロソフト ファイナンシング」をご覧ください。詳しくは、P.31

補正発注

補正発注とは、1 年間に取得された追加分に対する複数の発注を、年 1 回の発注に統合したプロセスです。契約期間中は、あらかじめ決められた条件で、必要な時にオンライン サービス、オンプレミス 製品を追加または削減することができ、年に 1 度発注する必要があります。なお、ライセンス数を削減する場合には条件があります。

ライセンス管理

ライセンス管理者の方は、ライセンス管理専用の Web サイト、ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) にアクセスすることで、契約の詳細情報を簡単に確認できます。

VLSC Web サイト

⇒ http://aka.ms/VL_VLSC

エンタープライズ サブスクリプション加入契約 (EAS)

3年間の非永続ライセンスを利用できる加入契約で、契約期間中のみオンプレミス製品やオンライン サービスを利用したいお客様向けのプログラムです。ライセンス料金は、使用するライセンス数を1年ごとに計算するため、初期費用の削減だけでなく、年単位でライセンス数が増減する場合にも柔軟に対応できます。

契約期間

契約期間は3年間です。

契約満了時には、契約の更新またはライセンスの買取りオプションを使用して、永続ライセンスを購入することもできます。



購入条件

エンタープライズ加入契約と同じです。

対象製品

エンタープライズ加入契約と同じです。

価格設定

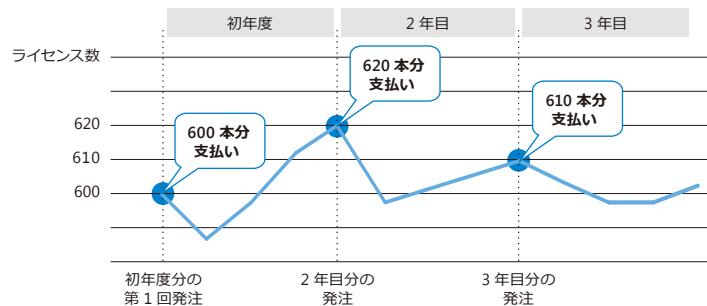
エンタープライズ加入契約と同じです。

支払方法

契約締結時に全社のライセンス数分をお支払い、2年目開始日、3年目開始日にその時点のライセンス数に応じた年次の料金をお支払いください。

さらに柔軟なお支払い方法も
検討いただけます。

- 「マイクロソフト ファイナンシング」
をご覧ください。詳しくは、P.31



ライセンス管理

エンタープライズ加入契約と同じです。

サーバーおよびクラウド加入契約 (SCE)

マイクロソフトの主要なサーバーおよびクラウド テクノロジの標準化とライセンスの簡略化が図れます。全社規模の単一契約のためコストを削減し柔軟にクラウド環境へ移行できます。クラウドへのアプリケーションのライセンス モビリティ、System Center による Microsoft Azure のリソース管理、購入数量の多いお客様を対象とした無制限の技術サポートなど、クラウドに最適化された特典が利用できます。

契約期間	エンタープライズ加入契約と同じです。
購入条件	インストール ベースの全体契約または Azure の年額コミットメントで以下の 4 つの SCE のコンポーネントの 1 つ以上を購入する必要があります。
コア インフラストラクチャ	CIS Suites Standard または Datacenter (いずれかのエディションまたは両方の組み合わせ) を 400 コア ライセンスまたはそれ以上の購入が必要です。
アプリケーション プラットフォーム	最低発注数が 50 コアに必要な SQL コアライセンス数量、または 5 つの SQL サーバー エディションと 250 の CAL のライセンスの購入が必要です。 ※ BizTalk Server はオプションで購入可能ですが、BizTalk の任意のエディションによる 24 コア以上の購入が必要です。 ※ SharePoint Server はオプションで購入可能ですが、SharePoint Server を 5 サーバー以上の購入が必要です。
開発者 プラットフォーム	Visual Studio Enterprise および MSDN プラットフォーム の任意の組み合わせにより 20 ライセンス以上の購入が必要です。 MSDN サブスクリプションの利用によりライセンスを取得したソフトウェアのユーザーごとにライセンスの購入が必要です。
Microsoft Azure	Microsoft Azure のみで SCE を締結する場合は、1 か月につき年額コミットメント 10 ユニット以上の購入が必要です。 ※ 上記 3 つのコンポーネントのいずれかの契約で自動的に Microsoft Azure の利用が可能です。
対象製品	<ul style="list-style-type: none"> ■ コア インフラストラクチャ: Core Infrastructure Suite (CIS)、Windows Server、System Center ■ アプリケーション プラットフォーム: SQL Server、BizTalk Server、SharePoint Server ■ 開発者 プラットフォーム: Visual Studio、MSDN Platform ■ Microsoft Azure: すべての Microsoft Azure オンライン サービス
価格設定	購入規模に合わせて A ~ D の価格レベルがあります。
支払方法	エンタープライズ加入契約と同じです。
補正発注	エンタープライズ加入契約と同じです。
ライセンス管理	エンタープライズ加入契約と同じです。

ライセンス ソリューションパートナー (LSP) へ問い合わせる http://aka.ms/VL_LSP

エンタープライズ アグリーメントの詳細はこちら
http://aka.ms/VL_EA

教育機関向け総合契約

Enrollment for Education Solutions (EES)

	1,000 USL から 購入可能	契約期間 1、3 年間	非永続 ライセンス	一括払い/ 年額払い	教育対象 ユーザー数に による価格設定 A ~ D	包括契約
---	-------------------------	----------------	--------------	---------------	------------------------------------	------

ソフトウェア導入を、より少ないコストで、より効率的に管理するための教育機関向けプログラム

教育機関向け総合契約 (EES) は、初等/中等/高等教育機関を対象とした機関全体に対する契約で、サブスクリプション形式のライセンスを提供します。年に 1 回 教育対象ユーザー数をカウントするだけのシンプルな管理と、必要に応じて製品を追加できる柔軟性を備えており、無償ライセンスオプションや主要製品の学生向け特典も用意されています。

- Education プラットフォーム製品はユーザー単位でライセンスを取得できるため、教育対象ユーザーの数を簡単に把握し、必要なライセンスを購入できます。
- 学生向け特典が提供されている製品のライセンスを組織全体に導入すると、対応するサブスクリプション ライセンスの利用資格を追加コストなしで学生に割り当てることができます。
- Education プラットフォーム製品は複数年契約の応答日に、初回発注数量を下限として調整が可能です。

契約期間	1 年間、3 年間から選択できます。									
購入条件	教育機関全体で契約が必要で、すべての教育対象ユーザー * 数または学生数 1,000 以上に対して、1 つ以上の Education プラットフォーム製品の購入が必要です。 <small>* 教育対象ユーザーは、教育機関の利益を図る目的や、ユーザーと教育機関との関係の範囲内で製品または対象デバイスを使用する教職員、契約職員、ボランティアが対象になります。</small>									
対象製品	■ Education プラットフォーム製品: Office 365 A3/A5、Windows 10 Education A3/A5、EMS E3/E5、およびこれら 3 つの製品に Minecraft が統合された Microsoft 365 Education、および Office 365 ProPlus									
価格設定	Education プラットフォーム製品の、教育対象ユーザー数または学生数によって、最適な価格レベル (A ~ D) で提供されます。									
支払方法	一括払い、年額払いから選択できます。									
	価格レベル <small>(Education プラットフォーム製品のみに適用)</small> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <thead> <tr> <th>対象組織全体会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>25,000</td> </tr> </tbody> </table>	対象組織全体会	A	1,000	B	3,000	C	10,000	D	25,000
対象組織全体会										
A	1,000									
B	3,000									
C	10,000									
D	25,000									

ライセンス ソリューションパートナー (LSP) へ問い合わせる → http://aka.ms/VL_LSPEES の詳細はこちら → https://aka.ms/VL_EFES

スクール アグリーメント

School Agreement

	PC 10 台以上	契約期間 1、3、5 年間	非永続 ライセンス	一括払い/ 年額払い	PC 台数に による価格設定 A ~ B	包括契約
---	--------------	------------------	--------------	---------------	----------------------------	------

学校でのスムーズなソフトウェア導入を実現

スクール アグリーメントは、契約期間におけるソフトウェアの利用料をお支払いいただく、サブスクリプション形式のライセンスです。

- ソフトウェアの契約単位 (学校全体または特定施設全体) にあるすべての PC にライセンスが許諾されます。PC ごとにライセンスを管理する手間が軽減できます。
- 学生オプションの契約により、自宅もしくは個人の PC 1 台でソフトウェアを利用でき、就職や学習/研究に必要な環境を学生に提供できます。

契約期間	1 年間、3 年間、5 年間から選択できます。						
購入条件	学校、学校法人内の特定施設などにあるすべての PC (10 台以上) の購入が必要です。						
対象製品	Office Professional Plus、Windows 10 Education、Core CAL/E CAL、およびこれらの製品が統合された School Desktop platform、および Office 365 ProPlus						
価格設定	契約対象となる PC 台数に応じて 2 段階の価格レベルが設定されています。						
支払方法	一括払い、年額払いから選択できます。						
	価格レベル 契約 PC 台数 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: 0;"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>10 以上</th> <th>2,500 未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B</td> <td>2,500 以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	A	10 以上	2,500 未満	B	2,500 以上	
A	10 以上	2,500 未満					
B	2,500 以上						

マイクロソフト製品販売会社へ問い合わせる → https://aka.ms/VL_Resellerスクール アグリーメントの詳細はこちら → http://aka.ms/VL_School

マイクロソフト プロダクト アンド サービス アグリーメント

Microsoft Products and Services Agreement (MPSA)

規模や種類を問わず、簡略化された単一の契約

※ MPSAにおいては Azure の販売は行っておりません。

- オンプレミス製品、オンライン サービス、ソフトウェア アシュアランスの購入を単一の契約で統合できる、無期限の契約です。
- お客様の購入数に応じて最適な価格で購入が可能です。
- 「購入アカウント」の採用によって買い方の柔軟性が高まり、購入体系を独自に構築できます。
- Microsoft Business Center を利用すると、MPSA を通じて購入したライセンスの購入履歴を 1 つの画面で確認できるため、資産を簡単に管理できます。

契約期間	無期限
購入条件	関連会社も合わせて製品群ごとに 500 ポイント以上 (1 年間)、または製品群ごとにオンライン サービス ユーザー数 250 以上 (1 年間) の購入が必要です。
価格設定	購入規模に合わせて A ~ D の価格レベルがあります。 公共機関および教育機関は、購入したライセンス数に関係なく、特別価格が適用されます。
支払方法	一括払い、年額払い* から選択できます。 * ソフトウェア アシュアランス付きライセンスおよびオンライン サービス製品購入時のみ年額払いが可能です。
ライセンス管理	Microsoft Business Center で、MPSA で購入したライセンス、サブスクリプションなどを管理できます。

ライセンス ソリューションパートナー (LSP) へ問い合わせる → http://aka.ms/VL_LSP

マイクロソフト製品/サービス契約の詳細はこちら
→ http://aka.ms/VL_MPSA

セレクトプラス フォー ガバメント パートナーズ

Select Plus License Program Agreement for Government Partners

アカデミック セレクトプラス

Academic Select Plus Agreement

関連組織のソフトウェア個別購入に対応

- 任意の機関単位レベルでオンプレミス製品やサービスを購入できる一方で、ライセンス管理の一元化など関連機関を包括した契約を希望する中規模から大規模のお客様を対象とした公共機関向けおよび教育機関向けのプログラムです。
- 契約期限が無期限であるため、お客様は契約の更新や再交渉をする必要がなく、管理面での効率化も図れます。

契約期間	無期限
購入条件	関連機関も合わせて製品群ごとに年間 500 ポイント以上のご購入が必要です。エンタープライズ アグリーメント フォー ガバメントもしくは、エンタープライズ サブスクリプション アグリーメント フォー ガバメントの契約を締結しているお客様、スクール アグリーメントもしくは教育機関向け総合契約をすでに契約している場合、最低購入数の制限がなくなります。
価格設定	公共機関と教育機関向けの特別価格で購入できます。
支払方法	一括払い、年額払い* から選択できます。 * ソフトウェア アシュアランス付きライセンス購入時のみ年額払いが可能です。

ライセンス ソリューションパートナー (LSP) へ問い合わせる → http://aka.ms/VL_LSP

セレクトプラスの詳細はこちら → https://aka.ms/VL_Select

オープン バリュー

Open Value Agreement (OV)

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 3 年間	ソフトウェアアシュアランス付き	一括払い/年額払い	包括契約または必要なライセンスを必要な数分購入
--	---------------	-----------	-----------------	-----------	-------------------------

オープン バリュー フォー ガバメント

Open Value Agreement for Government

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 3 年間	ソフトウェアアシュアランス付き	一括払い/年額払い	包括契約または必要なライセンスを必要な数分購入
--	---------------	-----------	-----------------	-----------	-------------------------

オープン バリュー プログラムでは、マイクロソフトのライセンス製品の使用と管理を柔軟かつ低価格な単一契約にまとめることができます。契約期間は 3 年で、ソフトウェア アシュアランスが標準で含まれているオンプレミス製品やオンライン サービス製品を購入できます。

- 国内の関連会社を含めた一括契約も行えるので、企業グループ単位でのソフトウェア管理を簡素化できます。
- 全社契約オプションを利用すると、Office、Windows クライアント OS など、特定のマイクロソフト製品のライセンスを企業内すべての PC に対する追加割引を受けることができます。このオプションを利用しない場合は、3 ライセンス以上のライセンスを必要な数だけ発注できます。
- ソフトウェア アシュアランスが標準で装備されており、最新バージョンの使用権や年額払いなどの特典が利用できます。
- オンライン サービスを追加購入製品として購入することも可能です。

オープン バリュー サブスクリプション

Open Value Subscription Agreement (OVS)

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 3 年間	ソフトウェアアシュアランス付き	年額払い	包括契約
--	---------------	-----------	-----------------	------	------

オープン バリュー サブスクリプション フォー ガバメント

Open Value Subscription Agreement for Government

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 1, 3 年間	ソフトウェアアシュアランス付き	年額払い	包括契約
--	---------------	--------------	-----------------	------	------

オープン バリュー サブスクリプション 教育機関向け総合契約

Open Value Subscription Agreement for Education Solutions (OVS-ES)

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 1, 3 年間	ソフトウェアアシュアランス付き	年額払い	包括契約
--	---------------	--------------	-----------------	------	------

ライセンス料金は、ご使用になる PC 台数を 1 年ごとに計算するため、初期費用の削減だけでなく、年単位で PC 台数が増減する場合にも柔軟に対応できます。

- 新規に OVS を締結されるお客様で、現行バージョンまたは 1 つ前のバージョンの製品のライセンスを全社規模で取得している場合、初年度の価格をさらに抑えることが可能です。
- 国内の関連会社を含めた一括契約も行えるので、企業グループ単位でのソフトウェア管理を簡素化できます。
- ソフトウェア アシュアランスが標準で装備されており、最新バージョンの使用権や年額払いなどの特典が利用できます。
- オンライン サービスを追加購入製品として入手することも可能です。

オープン ライセンス

Open License Agreement

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 2 年間	ソフトウェアアシュアランスオプション	一括払い	必要なライセンスを必要な数分購入
--	---------------	-----------	--------------------	------	------------------

オープン ライセンス フォー ガバメント

Open License Agreement for Government

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 2 年間	ソフトウェアアシュアランスオプション	一括払い	必要なライセンスを必要な数分購入
--	---------------	-----------	--------------------	------	------------------

アカデミック オープン ライセンス

Academic Open License Agreement

	3 ライセンスから購入可能	契約期間 2 年間	ソフトウェアアシュアランスオプション	一括払い	必要なライセンスを必要な数分購入
--	---------------	-----------	--------------------	------	------------------

オープン ライセンスは、必要な時に必要なライセンスを購入することができるため、組織のビジネス ニーズの拡大や変化に合わせてライセンス数を増やすことができる柔軟性を備えています。オープン ライセンスでは初回発注時に 3 つ以上のライセンスを購入する必要がありますが、2 年間の契約期間中であればいつでも任意の数量のライセンスを追加購入することができます。Office 365 などの多くのオンライン サービスには最低発注要件はありません。

マイクロソフト クラウド アグリーメント

Microsoft Cloud Agreement (MCA)

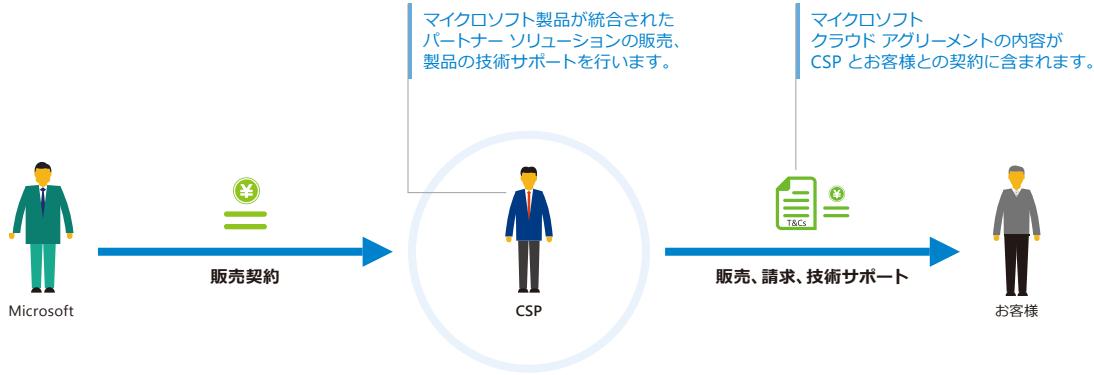
マイクロソフト クラウド アグリーメント (MCA) では、マイクロソフトのパートナーであるクラウド ソリューション プロバイダー (CSP) が提供する多彩なクラウド ソリューションから独自のニーズに合ったソリューションを購入できます。CSP は、マイクロソフト製品と自社のソリューションを組み合わせ、お客様に最適なクラウド ソリューションを提供するだけでなく、購入から導入、使用にいたるまでのサポートも提供します。

- パートナー ソリューション高付加価値モデルやマネージド サービスで組織が利用するクラウド環境を最適化できます。
- 必要なクラウド ソリューションを必要な時に購入できるため、ビジネス ニーズに応じて迅速に展開できます。
- 管理やサポートはソリューションの提供元が実施するため、問い合わせ先や管理を一元化でき、コストや手間を削減できます。

クラウドに精通したクラウド ソリューション プロバイダー (CSP) を中心にお客様をサポート

MCA は CSP が自社サービスを含む独自の契約をお客様との間で締結します。その際に、マイクロソフト クラウド アグリーメントを契約内容に含め、お客様との間で合意することで契約締結となります。契約内容の詳細については、ソリューションを提供する CSP にご確認ください。

CSP の販売方法



契約期間

契約期間は CSP により異なります。詳細は CSP へお問い合わせください。

購入条件

ユーザー サブスクリプション ライセンスを 1 ライセンス以上からのご購入が必要です。
Azure サービスを利用したソリューションの場合は従量課金制。

対象製品

主に次の製品が対象になります。

- **ユーザー数ベースのサービス:**
Office 365、Enterprise Mobility + Suite、Windows E3/E5、Dynamics 365、Microsoft 365 E3/E5 など
- **従量課金ベースのサービス:**
Microsoft Azure

支払方法

- ユーザー数ベースのサービスは、月額払い、年額払いから選択できます。

※ 提供されている支払い方法は CSP により異なります。詳細は CSP へお問い合わせください。

- 従量課金

クラウド ソリューション プロバイダー (CSP) へ問い合わせる https://aka.ms/VL_CSP_Solution

一般企業	1 USL から 購入可能	契約期間は CSP との 契約に基づく	非永続 ライセンス	必要な ライセンスを 必要な数分 購入
------	---------------	---------------------	-----------	---------------------

公共機関	1 USL から 購入可能	契約期間は CSP との 契約に基づく	非永続 ライセンス	必要な ライセンスを 必要な数分 購入
------	---------------	---------------------	-----------	---------------------

教育機関	1 USL から 購入可能	契約期間は CSP との 契約に基づく	非永続 ライセンス	必要な ライセンスを 必要な数分 購入
------	---------------	---------------------	-----------	---------------------

マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント

Microsoft Online Subscription Agreement (MOSA)

MOSA は、Web からセルフ サービスで直接オンライン サービスを購入、アクティベーション、プロビジョニングを行うことができます。

- 1 ユーザーから契約できるため、組織の規模に関係なく利用することができます。
- Office 365、Microsoft Azure、Enterprise Mobility + Security、Dynamics 365 などをマイクロソフトの Web サイトから直接購入でき、すぐに使用を開始することができます。
- デジタル署名によるオンラインでの容易な契約手続きのため、契約処理にかかる時間を大幅に短縮できます。
- 組織の成長に応じて、サービスやユーザー数を柔軟に追加できます。

1 USL から
購入可能

契約期間
1 年

非永続
ライセンス

必要なライセンスを
必要な数分
Web から直接購入

契約期間

契約期間は 1 年間です (自動更新)。

購入条件

ユーザー サブスクリプション ライセンスを 1 ライセンス以上からのご購入が必要です。

Azure サービスを利用したソリューションの場合は従量課金制。

支払方法

クレジット カード決済または請求書の発行* から選択できます。

* 請求書の発行には最低購入金額の制限があります。

購入 Web サイト

Office 365 のご購入はこちら

↗ https://aka.ms/VL_O365buy

Enterprise Mobility + Security のご購入はこちら ↗ https://aka.ms/VL_EMSSbuy

Dynamics 365 のご購入はこちら

↗ https://aka.ms/VL_Dynamics365buy

Microsoft Azure のご購入はこちら

↗ https://aka.ms/VL_Azurebuy

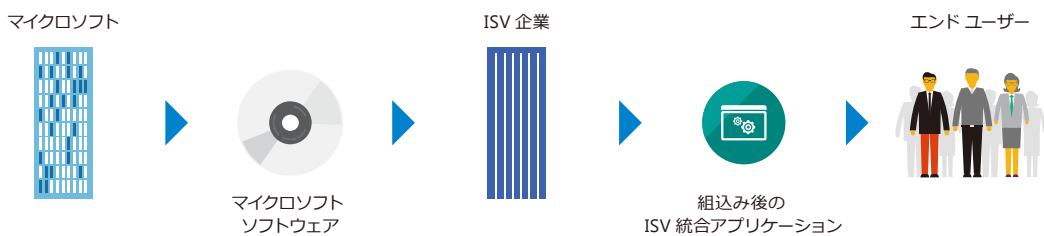
ISV Royalty プログラム

Independent Software Vendor Royalty

パッケージ ソフトウェア開発企業様向けライセンス プログラム

ISV Royalty ライセンス プログラムは、ISV (Independent Software Vendors; パッケージ ソフトウェア開発企業) パートナー様が、シンプルなライセンス オプションを通じて、統合ソリューションをエンド ユーザーに提供するための権利を得られるライセンス プログラムです。独立ソフトウェアベンダー (ISV) のパートナーが、マイクロソフトのソフトウェアに自社のソリューションを組み込んで販売できるため、マイクロソフトのテクノロジと ISV のソリューションを組み合わせて、お客様に幅広いソリューション提案が可能になります。

- ユーザーに単一のリソースを提供することで、個々のソフトウェアの展開でかかる時間を短縮できます。さらに、ユーザーは、ソリューション一式をマイクロソフト製品とライセンス込みで 1 つの販売元から入手できます。エンド ユーザーは調達と導入時の手間を省け、すぐに利用できます。
- ISV のソリューションにマイクロソフト製品を組み込んで事前構成することで、インストール、設定、更新、サポートのコストを削減できます。
- ISV の統合ソリューションを配布が許可されている世界各地のエンド ユーザーに配布できます。エンド ユーザーはグローバルな統合ソリューションから最適なソリューションを選択することが可能になります。
- さまざまなマイクロソフト サーバー アプリケーションおよび一部のデスクトップ PC アプリケーションを利用できます。また、最新機能が組み込まれたマイクロソフト製品の最新バージョンを利用できます。



ISV Royalty ライセンス プログラムの詳細はこちら http://aka.ms/VL_ISV

サービス プロバイダー ライセンス アグリーメント

Services Provider License Agreement (SPLA)

ホスティング型サービスやアプリを提供する企業様向けライセンス プログラム

Microsoft Services Provider License Agreement (SPLA) は、Web ホスティング、ホスティング アプリケーション、メッセージング、コラボレーション、プラットフォーム インフラストラクチャなど、ホスティング型のソフトウェアやサービスをエンド ユーザーに提供する企業向けのライセンス プログラムです。

SPLA は、第三者へのホスティングを目的としてマイクロソフト ソフトウェアのライセンス使用権が得られるサブスクリプション ライセンスで、契約の有効期間中のみ使用が許可されます。

- ニーズに合わせてカスタマイズした IT サービスを提供できます。また、エンド ユーザーに代わってサービスやマイクロソフト製品の使用権を管理できます。
- 前月にエンド ユーザーに提供した製品のライセンス料のみ支払います。初期コストはかかりず、月ごとの販売ノルマや長期的なコミットメントもありません。
- エンド ユーザーに最新かつ高機能のマイクロソフト プラットフォームを提供できます。メディア媒体を発注する代わりに、マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) から無償で製品をダウンロードできます。
- エンド ユーザーにサービス提供する前に、ライセンス費用を支払うことなく、社内でライセンス製品をテストおよび評価できます。
- サーバーにインストールするマイクロソフト製品の日々の管理や操作を、アウトソーシング企業に委託することができます。アウトソーシング企業は、サービスプロバイダー様の代わりにデータセンターの管理、テスト、保守サポート サービスを実施できます。
- 自社で所有またはリースしているデバイスにマイクロソフト製品をインストールし、エンド ユーザーの施設内に配置することができます。
- サービス/製品のデモを目的として、最大 50 人分の有効なユーザー ID を使用できます。また、60 日間の試用期間中、見込み顧客に製品を無償で提供することができます。
- SPLA を通じて教育機関のエンド ユーザーに特別価格でソリューションを提供し、ビジネスを拡大できます。

SPLA の詳細はこちら http://aka.ms/VL_SPLA

ソフトウェア アシュアランス

Software Assurance (SA)

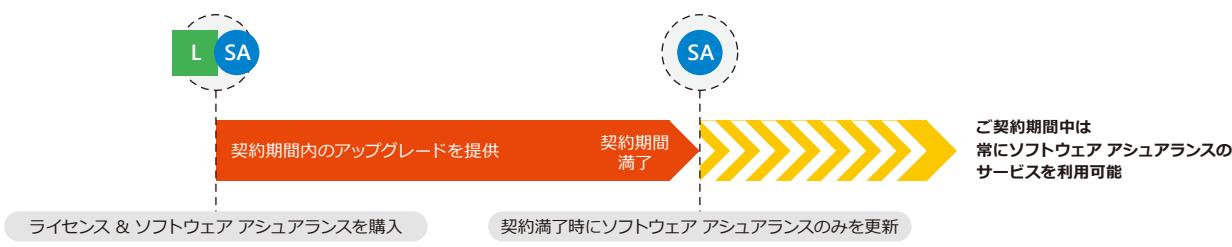
ソフトウェア アシュアランスは、独自のテクノロジやサービスを含むセットを提供し、マイクロソフト製品を効率的に導入、管理、利用できるように支援するための包括的なプログラムです。ソフトウェア アシュアランスを利用することにより、職場環境を常に最新の状態に維持して、新たな変化やチャンスにも迅速に対応できるようになります。

ソフトウェア アシュアランスのメリット



ソフトウェア アシュアランスの取得

ソフトウェアアシュアランスは、コマーシャルライセンス契約の購入時または更新時に購入できます。一部の契約にはソフトウェアアシュアランスが標準で付属されています。標準で付属されていない契約ではオプションによる購入となります。ソフトウェアアシュアランスの特典は直ちに利用を開始でき、ライセンスの契約期間中は常に有効です。



L ライセンス (License)

SA ソフトウェア (Software Assurance)

ソフトウェア アシュアランスの主な特典

ソフトウェア アシュアランス特典には、独自のテクノロジ、拡張されたライセンス権、包括的なサービスが含まれ、お客様の必要に応じて、ビジネスの優先事項を推進するためのマイクロソフト ソリューションの導入に役立てるすることができます。ご利用いただける特典は、ご利用のライセンス プログラムや製品、サービスによって異なりますが、ここでは一部の得点を紹介します。その他の特典については、製品条項をご覧ください。

ライセンス モビリティ

サーバーのワークロードやアプリケーションのクラウドへの移行を検討しているお客様は、IT 戦略の一環として既存のライセンスへの投資を活用いただけます。ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティによって、お客様は追加のライセンスを購入することなく、Microsoft Azure もしくはサービス プロバイダーの共有ハードウェア環境でも、ソフトウェア アシュアランスが有効な特定のサーバー アプリケーションを柔軟に展開することができます。その結果、ビジネス環境の変化に対応したインフラストラクチャを低価格で利用できます。その際、お客様がクライアント アクセス ライセンス (CAL) を新たに追加購入する必要はありません。

柔軟性の向上

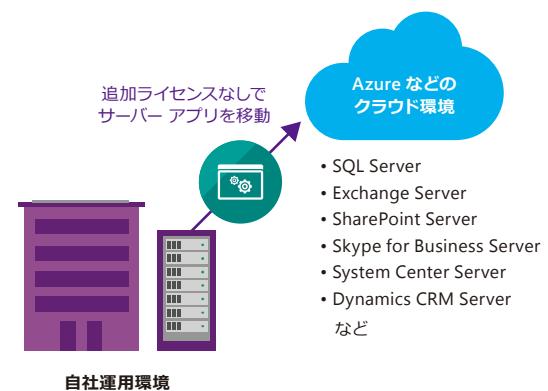
- 目的に合ったクラウド環境にサーバー アプリケーションを展開できるため、ワークロードの柔軟性が向上
- ライセンスを追加することなく、アプリケーション サーバーのワークロードをオンプレミス 環境から Microsoft Azure または認定モビリティ パートナーの IaaS へ移動可能

コスト効率の向上

- ホスティング プロバイダーの共有ハードウェアを利用することで、コスト効率の高いインフラ運用を実現でき、クラウドへの展開時に既存のライセンスへの投資を活用可能

管理性の向上

- 既存の一部のコマーシャル ライセンス プログラムを通じて、クラウド ホスティングに容易 に移行可能
- 移行するアプリケーション サーバーのワークロードに対するライセンスまたは契約の条件 の追加が不要



ライセンス モビリティの詳細はこち
http://aka.ms/VL_SALM

導入計画サービス

導入計画サービスは 1 日間、3 日間、5 日間、10 日間、15 日間の契約で提供される体系的なコンサルティング サービスです。購入したライセンス プログラムと有効なソフトウェア アシュアランスの対象ライセンス数に基づいて計画サービスの日数数が提供されます。お客様先に専門家を派遣し、次期マイクロソフト テクノロジの導入計画の策定を支援し、導入計画コンサルタントのアドバイスを受けながら、オンプレミス、クラウド、ハイブリッド環境に一連のマイクロソフト ソリューションを導入するための最適な方法を検討していただけます。お客様固有のニーズに基づいて、導入に関する主な疑問点や懸念事項を解消できます。

導入計画サービスの提供内容

- お客様ごとにカスタマイズされた導入、アップグレード、移行計画の策定に関するサポートを 提供
- 派遣される専門家のサポートを基に、導入に 関する疑問点や懸念事項を解消
- 詳細な技術計画セッションを通じて、マイクロソフトの製品やサービスがお客様の環境にど のように適合するのか理解
- IT 環境の評価、従業員のニーズ、ビジネス要件に基づいてカスタムの導入計画を策定
- お客様の社内の専門知識を拡張し、マイクロソフトのベスト プラクティスを取り入れることで、リスクの軽減と導入コストを削減
- 計画を強化する概念実証やパイロット導入により、カスタムの導入計画およびソリューションの価値を実証

導入計画サービスの詳細はこち
http://aka.ms/VL_xDPS

トレーニング受講券

トレーニング受講券では、IT 技術者や開発者を対象とした技術トレーニング、およびエンド ユーザーを対象としたオンライン コースを無償で利用できます。購入したライセンス プログラムと有効なソフトウェア アシュアランスの対象ライセンス数によって決定される日数分のトレーニング コースを受講できます。このトレーニング コースは、マイクロソフトの専門家が開発し、マイクロソフト認定 ラーニング ソリューション パートナーが提供するマイクロソフト公式コースで、マイクロソフト認定トレーナー (MCT) が講師を担当します。



技術者向けトレーニング

マイクロソフト ラーニング パートナー認定の講師による教室形式のトレーニングです。IT 管理者および技術者が持つ既存のスキルアップに加えて、新しい先進技術に関する知識を習得できます。日々の業務の効率化だけでなく、将来にわたる貢献度の向上にも役立ちます。



エンド ユーザー トレーニング

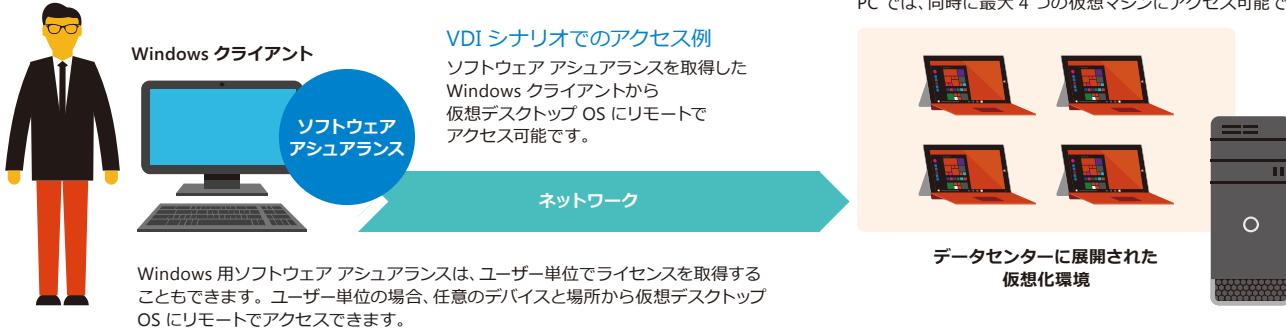
各エンド ユーザーは、自分のペースで個人向けの対話型オンライン コース (e ラーニング) を受講して、スキルを高めることができます。このトレーニングにより、エンド ユーザーが新しい機能やその使い方を習得することができます。IT 予算に影響を与えることなく、タイムリーなトレーニングを通じて、新製品の導入を準備を進めることができます。

トレーニング 受講券の詳細はこち
https://aka.ms/VL_TR

Windows Virtual Desktop Access (VDA) の権利

Windows VDA の権利によって、ソフトウェア アシュアランスを取得したデバイスまたはユーザーが、リモートまたはローカルで実行する仮想 Windows デスクトップ OS にアクセスすることができます。仮想デスクトップ OS の一元管理により、デスクトップ構成やセキュリティ構成など、組織ニーズに合わせた Windows 環境を効率よく、迅速に展開することが可能になります。

Windows VDA の権利は、仮想化環境上で Windows OS をインストールした仮想マシンを稼働させ、Windows クライアントやシン クライアントがネットワーク経由で仮想化されたデスクトップを利用する VDI (Virtual Desktop Infrastructure) ソリューションなどを利用する際に役立ちます。



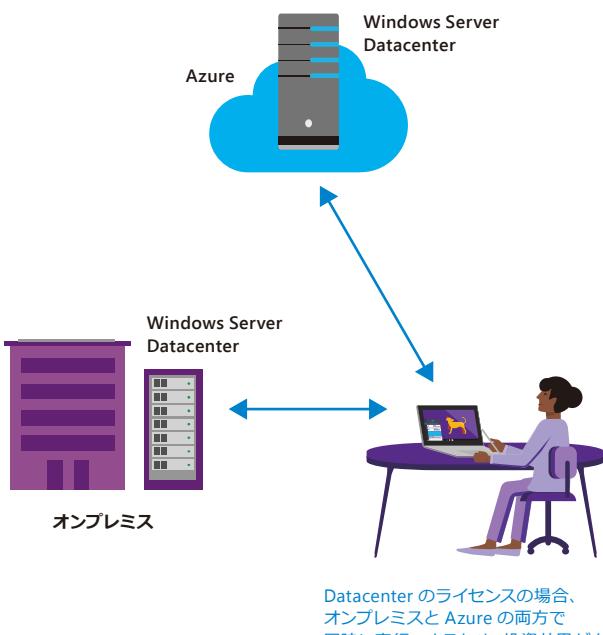
Microsoft Azure ハイブリッド使用特典 (Windows Server のソフトウェア アシュアランス特典)

Windows Server のソフトウェア アシュアランスでは、Microsoft Azure ハイブリッド使用特典が提供されます。ハイブリッド使用特典を利用すると、オンプレミスのソフトウェア アシュアランス付き Windows Server のライセンスを使用して、Azure 上で Windows Server 仮想マシンを実行できます。Azure 上でライセンスを Windows Server の使用権を新規に購入する必要がなく、低価格な基本コンピューティング料金 (Linux 仮想マシンの料金) で実行できるため、IT インフラのコストを抑えることが可能です。

エディションで異なる特典を提供

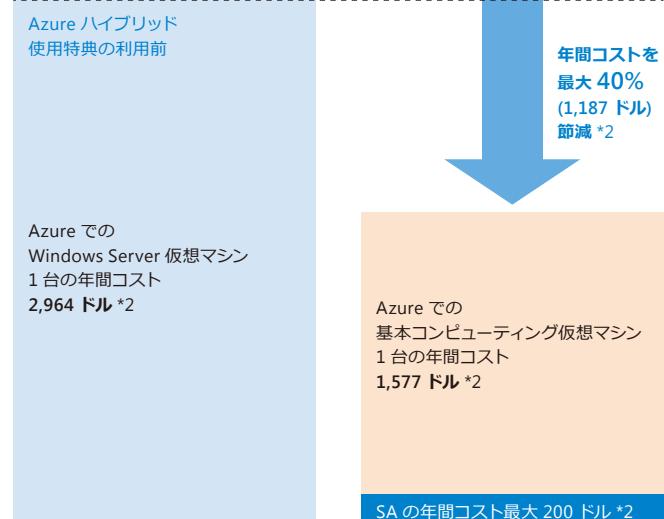
Windows Server の 2 プロセッサ ライセンスまたは 16 コア ライセンスごとに、最大 8 コアのインスタンスを 2 つ、あるいは最大 16 コアのインスタンスを 1 つ利用できます。

また、Standard エディションのライセンスでは、オンプレミスまたは Azure 内のどちらかでのみ使用できます。Datacenter エディションのライセンスでは、オンプレミスと Azure 内の両方で同時に使用することができます。



Windows Server 仮想マシンのコストを最大 40% 節約 *1

オンプレミスのソフトウェア アシュアランス付き Windows Server ライセンスを使用すれば、基本コンピューティング料金を支払うだけで済むため、Azure での Windows Server 仮想マシンのコストを最大 40% 節減することができます。



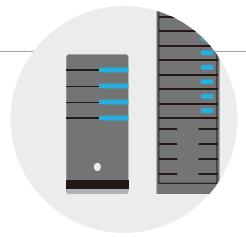
*1 実際に節約可能な料金は、リージョン、インスタンス タイプ、使用方法によって異なります。

*2 コスト節減の前提: 米国西部 2 リージョンで 2 台の D2 v2 Promo VM を 1 日あたり 20 時間 × 1 年間 (365 日) 実行、米国西部 2 の CentOS または Ubuntu Linux 料金での基本コンピューティング料金、Windows Server Standard Edition (2 プロセッサ ライセンス 1 つまたは 16 コア ライセンスのセット) のソフトウェア アシュアランス コスト (レベル A)。実際に節減可能な額は、リージョン、インスタンスの種類、または利用状況によって異なる場合があります。2017 年 4 月現在の料金。料金は変更される可能性があります。

ライセンス認証

オンプレミスの認証 (ボリューム アクティベーション)

ボリューム アクティベーションは、企業内や組織内で Windows Server、Windows OS および Office を展開、利用する際に必要となる、製品のライセンス認証テクノロジです。コマーシャル ライセンスを利用するお客様が一般的の利用者にも理解しやすい方法でライセンス認証プロセスを自動化できるよう設計されています。これにより不正コピーや偽造ソフトウェアの使用を防ぎ、コンプライアンスの準拠や運用管理効率の向上など、お客様にさまざまな利便性と安全性を提供します。



3 種類のボリューム アクティベーション認証方式

Active Directory による認証

Active Directory によるライセンス認証を使用すると、ドメインに参加しているクライアントやサーバーは、ドメインに参加した段階でライセンス認証が行われます。

キー管理サービス (KMS) 方式

KMS ライセンス認証は、キー管理サービス (KMS) がインストールされているサーバーから、組織ネットワーク内のサーバーやクライアント PC のライセンス認証を行う方法です。

マルチ ライセンス認証キー (MAK)

MAK ライセンス認証とは、オフラインおよび組織内のネットワークに接続されていないサーバーやクライアント PC 向けに提供されるライセンス認証方法です。コンピューターは、1 回ライセンス認証を行えば、ハードディスク交換や大幅なハードウェア変更がない限り、以降のライセンス認証は不要となります。

- ライセンス認証できるのは、コマーシャル ライセンス プログラムで購入した Windows 8 および Windows Server 2012 以降の製品
- 180 日の有効期間が設定されますので、その期間内に更新作業が必要

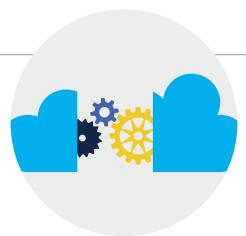
- KMS ライセンス認証を行うには、ネットワークに最小限の数の物理コンピューターもしくは仮想コンピューターが必要
 - Windows Server 5 台以上 • Windows クライアント 25 台以上
- 180 日の有効期間が設定されますので、その期間内に更新作業が必要

- 各コンピューターが、インターネットまたは電話を使って、それぞれ個別にマイクロソフトに接続してライセンス認証の実行が必要
- セキュリティ上の理由からインターネットなどへのアクセスが制限される場合は、複数のコンピューターのライセンス認証要求をまとめて、ボリューム ライセンス認証管理ツール (VAMT) を使ってマイクロソフトへの送信が可能

※ お客様組織の所有 PC が 50 台以下の場合、マルチ ライセンス認証キー (MAK) をご利用ください。

オンライン サービスの認証

オンライン サービスはマイクロソフトがサービス プロバイダーとなるため、サービスを使用する前に「ライセンス認証」が必要になります。



MOSA (マイクロソフト オンライン サブスクリプション アグリーメント) での認証

1. Microsoft Online Customer ポータルでライセンス認証を行います。
2. サービスのライセンス認証の完了後、通知を受信します。
3. マイクロソフト オンライン管理センター (MOAC) でサービスを管理できます。

MPSA (マイクロソフト製品/サービス契約) での認証

1. Microsoft Business Center で発注とライセンス認証を行います。
2. サービスのライセンス認証の完了通知を受信します。
3. Microsoft Business Center、またはマイクロソフトオンライン管理センター (MOAC) でサービスを管理できます。

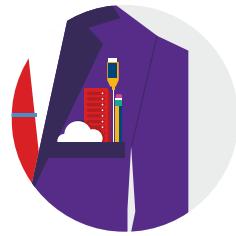
Open Program での認証

1. VLSC にサインイン後、[オンライン サービスのアクティベーション] をクリックします。
2. [オンライン サービスのアクティベーション] ページで、アクティベーションするオンライン サービスのライセンス ID を選択します。
3. アクティベーションするオンライン サービスを選択した後、[アクティベーションの管理] をクリックします。
4. 組織アカウントでサインインすると、オンライン サービスをアクティベーションするためのページが表示されます。目的のオンライン サービスの [アクティベーションの開始] をクリックします。
5. 新しいオンライン サービスのセットアップが開始されるので、ウィザードに従ってセットアップを完了します。

Enterprise Agreement、Enrollment for Education Solutions、School Enrollment での認証

1. 契約手続きが完了すると、オンライン カスタマー ポータルからライセンス認証のメールを受信します。
2. お客様の組織が指定したオンライン サービス管理者のメール アドレス (Enterprise Agreement の加入契約で使用したものと同じアドレス) で、ライセンス認証のメールを受信します。
3. 試用版を昇格させる場合は、この Microsoft アカウント (旧称 Windows Live ID) を事前に設定しておく (お客様の個人用の Microsoft アカウントを使用しない) ことで、移行の問題を回避できます。
4. ライセンス認証のメールを受信したら、Microsoft アカウントを使ってライセンス認証を行います。
5. 取引が処理されライセンス認証メールが生成されるまでには、約 48 時間かかります。ライセンス認証メールが届かない場合は、お客様またはお客様のリセラー パートナーから ROC に問い合わせください。
6. サービスのライセンス認証が完了した後は、お客様の組織によるサービスの利用をいつでも開始できます。

ライセンス管理



マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター

コマーシャル ライセンスのお客様は、マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センター (VLSC) の便利で安全なオンライン ソリューションを使用して、ライセンス契約、加入契約、購入履歴を簡単に管理できます。このオンライン ツールでは、Open License、Open Value、Select License、Select Plus、Enterprise Agreement を通じて購入されたライセンスを管理できます。

MPSA を通じて購入されたライセンス管理は、Microsoft Business Center をご利用ください。

VLSC では次の操作を簡単に行うことができます。

- マイクロソフト ライセンス ステートメントを計算し、各種のプログラムと契約を包括したライセンスの全体像を簡単に把握
- 満了した契約を含む購入済みのライセンスやライセンス購入履歴の表示と確認
- マイクロソフト ボリューム ライセンス キー (VLK) を表示および申請
- コマーシャル ライセンスの利用資格に基づいてライセンス取得済み製品をダウンロード
- マイクロソフト ソフトウェア アシュアランス特典の有効化および使用開始
- 社内スタッフとソフトウェア アシュアランス管理者へのアクセス権付与

マイクロソフト ボリューム ライセンス サービス センターの詳細はこちら https://aka.ms/VL_MVLSC

マイクロソフト ファイナンシング



マイクロソフト ファイナンシングは、お客様がコマーシャル ライセンスを導入する際に、ニーズに応じたお支払いを可能にするファイナンシング サービスです。お客様の事業計画や財務計画に応じて、マイクロソフト ファイナンシングが、最適な支払い方法を設計、提案いたします。

マイクロソフト ファイナンシングの利用メリット

- 予算に縛られずに、必要なテクノロジをいち早く導入可能
- 予算に合わせた支払いプランの立案が容易
- 中長期の投資計画にあわせて、支払い金額を調整が可能 (不均等払の活用)
- キャッシュ フローの確保や ROI (投資利益率) の改善
- コマーシャル ライセンスをはじめ、導入予定の IT ソリューション全般がファイナンス対象



マイクロソフト ファイナンシングのお申込み・お問い合わせは、下記までご連絡ください



0120-921-851



msfjapan@microsoft.com

※ マイクロソフト ファイナンシングは、マイクロソフトが金融パートナー企業とともに展開するファイナンス ブランドであり、マイクロソフトやその関連会社がファイナンスを提供するものではありません。お客様がファイナンスを受けるには、金融パートナー企業による与信審査を経て、金融パートナー企業との間でファイナンスの契約をご締結いただく必要があります。

※ 日本におけるパートナー企業やお客様との契約窓口は、株式会社 JECC および昭和リース株式会社となります。

マイクロソフト ファイナンシングの詳細はこちら http://aka.ms/VL_MSF



最新情報は、<http://www.microsoft.com/ja-jp/licensing/> をご覧ください。

© Microsoft Corporation. All rights reserved. * Microsoft は、米国 Microsoft Corporation および、またはその関連会社の商標です。* その他記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。
* 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

-
- 日本マイクロソフト - Official Home Page <http://www.microsoft.com/ja-jp/>
 - マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00~17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)
 - マイクロソフト ボリューム ライセンス コールセンター 0120-737-565 (9:00~17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)

※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

ご購入に関するお問い合わせは、マイクロソフト認定パートナーへ。

日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー

6243-NOC2